

2006-2007  
DISTRICT 336-A



*We Serve*

*The International Association  
of Lions Clubs*

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区誌



1.2.3

No.3

2007. 第57巻

平成19年 3月20日発行

●地区ガバナーズ・スローガン

友情の輪を広げ  
共に楽しい奉仕





# 「その気になって」

公式訪問を終え、周年行事、例会訪問と、今年ほど一ヶ月が速いと感じた年は、無かった様に思います。

「会員増強について」

LCに入会する目的は「仲間をつくり、自身の人格を高め、志を同じくする者が奉仕をする」、私の考えている入会の目的です。自分が楽しさを感じられないクラブに、会員増強の目的の為に新会員を勧誘しても、一番の犠牲者は新会員であると思います。その会員が短期間で退会したとしたら、自分のことは別にして楽しくなかった事のマイナスのみが広がると思います。

第一に自分のクラブを楽しみ魅力あるクラブにすることです。「では楽しさとは何か」、RCやZCと話す中で、共通していることは、会員同士が仲が良いことです。知っている人「知人」から「友人」になることです。委員会や同好会で仲間を作ることです。その上に、家族がつながっていることです。会員が欠席しそうになった時の奥さんの一押しは、会員同士の出席コールよりはるかに大きな力を持っていると思われれます。

会員増強を一月末速報でみると

入会	378名	退会	296名
再入会	3名	死亡	28名
転入	5名	転出	1名

純増61名です。嬉しかったことは、数は少ないけれど、3名の再入会があったことです。再入会の入会式に参加して感じたことは、会員が明るく迎えておりました。このクラブがあって、この人の再入会があったのだと感じました。

反対に悲しいことは、折角、縁があって入会しながら296名が退会されている事実です。



336-A地区ガバナー  
**西園寺 純一**

## INDEX

表紙2	その気になって
01	地区ガバナー挨拶
02	第45回OSEALフォーラムに参加して
04	我がクラブのアクティビティ
20	LCだより
22	YE特集 スキーキャンプ
27	LCだより 大洲ライオンズクラブ(6R-1Z)
28	第53回地区年次大会ご案内
29	国際平和ポスターコンテスト
30	特別寄稿 四国の偉人 日本薬学の開祖 長井長義とテレゼ夫人
32	336-A地区会員現況
表紙3	物故会員・編集後記

LCは楽しい人生の思い出探しでもあるのに、  
残念でなりません。  
奉仕とは、損得ぬきに社会の為に尽くすこと  
であると思います。本気で行ってこそ奉仕で  
あると思います。そして一番身近なウイサー  
プは、自分のクラブの役を引き受けることか  
らはじまります。会長さんが役割作りに苦勞  
されることがありますけれど、進んで引き受  
けることが一番の奉仕であります。  
LCの総ての奉仕活動には相手がいます。ど  
んな小さな活動でもその気になって、本気で  
行動した時、双方に満足感が溢れ、感謝の「あ  
りがとう」が出てくると思います。  
残り4ヶ月になりました。与えられた時間を  
精一杯努力いたします。  
地区ガバナー 西園寺 純一



# 第45回OSEALフォーラムに参加して

336-A地区キャビネット幹事  
山口 和哉

11月3日～7日まで5日間の日程で、OSEAL・ペナンフォーラムに参加するため、11月3日の午前5時30分、早め自宅を出てキャビネット会計・兵頭氏

の車で松山空港へ集合し、関西空港へ出発しました。  
336複合地区参加者の内、松山空港から関西空港に集合する11名が関西空港

から一緒に出発する他の方達23名と合流しました。

参加申込み締め切り前の9月中頃に、336複合地区の中島大会参加委員長より、参加申込みが少ないので準地区において参加者を募って欲しいとの指示がありましたので心配をしましたが、A地区からの参加者が336複合地区で最も多く、胸を張って参加することができました。協力をいただきましたクラブと参加者に感謝いたします。

336複合地区の参加者は、A地区64名・B地区60名・C地区34名・D地区9名・計167名でした。

関西空港を、午前11時30分にマレーシア航空機で出発、クアラルンプール経由で午後11時30分にペナン空港へ到着しました。空港から40分夜のペナン市街にはいり、それぞれのホテルへ入りました。私達はザ・シテイバイビーホテルです。

日程2日目の11月4日(土)には、現地ガイドの案内で、日中気温・32度～34度の酷暑の中をペナン島観光が行われました。

ペナン島は、日本の小豆島くらいの面積で人口は約70万人の世界の観光地として発展しているとのこと。住民の60%は

中国系、20%はインド系で治安は良い国だそうです。国は、外国人のペナン移住本からの長期滞在者が増えているようです。住居費や物価が安く、夫婦二人なら年間150万円で充分生活できるそうです。町並みは観光地らしい高層ビルも見えますが、裏通りの住宅は、とても裕福とは言えない町並みが多く、貧富の差の大きさを感じました。

午後3時から、ペナン・インドアスポーツアリーナーで第45回OSEALフォーラムの開会式に全員出席しました。開催地のお国柄か、開会時間は30分遅れ、開会も午後5時の予定が50分遅れる状況でした。

ジミー・ロス国際会長は、カウボーイハットでペナン名物の人力車で登場しましたが、そのときには会場から大きな歓声で迎えられました。

国際会議等では、小型受信機を参加者に配り同時通訳が聞けるようにしています。今回はその措置もなしですから、とても時間が長く感じました。

午後7時から、ガーニーホテルで「MD336の夕べ」が開催され、仲間同士のうち解けた晩餐会が開かれました。



開会式壇上 [ペナン・インドアスポーツアリーナー]



開会式 (韓国席の参加者)



「MD336のタベ」で336-A地区参加者の記念写真

日程第3日目・11月5日(日)には、国際理事、地区ガバナーは「国際会長・国際副会長とガバナー・副地区ガバナーとの懇談会」がありました。一般参加者はそれぞれオプショナルツアーに参加しました。

午後6時から国際理事候補者主催の「ジャパーンレセプション」があり出席しました。次のシカゴ国際大会において選挙される、千葉県の柏中央ライオンズクラブ

所属・後藤隆一候補者と大阪府の茨木ライオンズクラブ所属・重松良次候補者の主催です。日本の国際理事・8複合所属の地区ガバナー及び一般招待者の参加で開催され、シカゴ国際大会へ日本から多くの参加と代議員による投票を呼びかけられました。

日程第4日目・11月6日(月)は、午前9時30分からザ・シティーベビーホテルで閉会式が開催されました。ジミー・M・ロス国際会長、国際副会長、国際理事が登壇して、OSEALフォーラム締めくくりにセレモニーが開催されました。

参加者からは、予定時間通りに大会が進行できなかったこと、通訳の配慮がなかったこと等反省点が上げられました。

最後に各国の参加者数は、総数5726名・内、日本1926名・韓国1487名・シンガポール・マレーシア1186名・台湾697名・中国130名等です。

午後4時30分にホテルを出発し帰途に着きました。ペナン空港発18時45分、クアラルンプール空港発・23時55分が約1時間遅れて、空港で5時間待ちには閉口しました。

日程第5日目・11月7日(火)午前7時30分に全員無事に関西空港へ到着し、それぞれ解散しました。

全員無事に大会参加を終えたこと、多数の参加をしてくださった皆様に感謝を申し上げます。

LIONS CLUBS  
INTERNATIONAL  
45TH  
OSEAL  
FORUM



閉会式 [ザ・シティーベビーホテル]  
右よりジミー・M・ロス国際会長、国際副会長、国際理事。左端が336選出の谷野国際理事。



## Our club's activity

# 我がクラブのアクティビティ

奉仕の心は親心、やれば地域に愛育つ。

奉仕こそ、われわれライオンマンの生命であり、使命です。

今回は、それぞれのクラブが行っているアクティビティの中から、クラブ会員に広く知ってほしいとゾーンチェアパーソンより推薦のあった28の優れたアクティビティを紹介します。

### 1 Region

#### ちのじまY.E.生

1R・1Z 砥部LC

#### PR委員 宗像 陽明

ようこそYE生！12月6日の忘年家族例会はオーストラリアのマニングLCよりのYE生マデリン・チイさんの歓迎例会になりました。一見してYE生とは思えない日本風の女の娘でしたが、コンニチワ、マデリン・チイとモウシマス！のかたことこの日本語での自己紹介があつて、やつと外国人らしさを感じた。中国系のオーストラリア人とのことで納得。それにしても、この見た目は日本人のYE生だったことが、この後の私たちホストファミリークラブとしての協力する会員の意識に金髪・青い目・英語コンプレックスに対する緊張感を和らげてくれることになる。

ホストファミリーを受けたのは入会してまだ10カ月の栗原久子さん。YE委員

でもあり、このYE生の受け入れと国際交流には関心があつたようで、佐野洋子YE委員長さんとは女性同士で息もピッタリ。とはいっても砥部のクラブとしても久しぶりの受け入れ、二人ともまったくの未経験とあつて先輩会員にアドバイスを求めたことが好結果となる。

個人でのホストファミリーは負担が大きすぎることと、砥部LCがホストファミリークラブとして受け入れていることの自覚と責任を持つて協力し合うこととなる。自らよるこんで手をあげ、それぞれの得意分野で日替り当番のように協力がはじまった。特に気負うことなく、日常生活や郷土の文化、地域の人々と自然にふれあえる環境づくりができた。また、YE生も明るく積極的な性格、その場の雰囲気を感じ、行動できる利発な学生だと感心させられることの多い娘さんでした。

それにしても、私たちも地域の皆さんも、単語のみにあやしげな英語と身ぶり手ぶりの伊予弁のコミュニケーション



会員のご近所合同での正月用もちつき。



砥部焼ロクロ体験。  
きよし窯にて家族への土産を制作。

ン。これがまたみごとに通じてしまう？  
ものです。YE生に関わったすべての方々は、他国で一生懸命のYE生を思いやる心づかいの中で自然とYE生気分を体験した思いもする。

このような私たちの対応をどう感じているのか、彼女の帰国報告、みやげ話を聞いてみたい気がするのは私だけではないだろう。12月25日、つぎのホストファミリーとなる高知さくらLCさんが迎えに見え、両ホストファミリーに囲まれての昼食でしたが、この日はほとんど笑顔が見られず、この2週間、ファインダー越しに見なれたあの明るい表情はなく緊張感を漂わせていた。私たちもオーストラリアのマニングLCからのYE交流で一人の人間をあずかるプレッシャーを感じる、それ以上にYE生はそれぞれのライオンズクラブのお世話になつていてのことの自覚があるようで、印象的であった。

今回の佐野YE委員長と栗原ホストファミリーの決断は、砥部LC結成25年目に新たなYE生受け入れ方法として後々大きな意味を持つように思う。「みんなで渡れば…」のウィ・サーブを体験したYE受け入れでした。

## ライオンズバザーに、 いらっしやい

1 R・2 Z 伊予LC

会長 永井 克彦

伊予LCを語る上で避けて通れないものがライオンズバザーです。我がクラブは今年で結成41年目ですが、バザーも40年の歴史がありますので、結成してすぐに事業資金の獲得方法として考えられました。

会長を終えるとバザー委員長に任命され、全体を取り仕切ることとなります。地元の郡中小学校の運動会に合わせて体育館を借りて行われますが、同時に国際平和ポスターの展示会も兼ねています。喫茶コーナー、抛出品、リサイクル品、手芸品販売と、一見すれば普通のバザーのようですが決定的な違いがいくつかあります。

まず喫茶コーナーで食べていただくパウンドケーキは一からLL及びLの手作りです。メンバーのパン工場を借り、みんなでハンドミキサーを持ち寄り、生地作りが始まり焼きあがってから1日冷やしてカット作業。3日ばかりで完成です。ラム酒に浸けたドライフルーツが入っているととても美味しいと毎年好評です。

二つ目は手芸品です。手芸が得意なLLを中心に、毎年趣向を変えて、準備は実に1年がかりで進められます。出来上がった作品は、デパートに並んでいてもおかしくないほどの出来栄です。当日もLL



の皆さんはライオンズマークの入ったお揃いのエプロンをつけて、ウェイトレス役・売り子役を務めます。このようにLはもちろん全員参加ですが、絶大なるLLの

協力があってこそこのバザーといえます。

チケットは2,000枚程度作りませんが、大部分を愛護班の方々にご協力いただき販売されます。また、会場で使用する100個近くの机も以前はレンタル業者から借りていましたが、自分たちが公民館や市内の学校などから借りて運搬することに

よって、経費を10万円程度節約しています。このバザーにより、昨年は総売り上げ約130万円、経費を差し引いたお金すべてを事業費会計に計上しアクティビティの資金としています。

## スリランカの弱視者へ 中古メガネを贈る

1 R・3 Z 北条LC

会長 杉野 靖夫

国際協会「視力関係プログラム」目標2「新たな脅威との戦い」第1に「弱視者への奉仕強化」が謳われております。また、ジミー・ロス国際会長も、特に優れたプログラムとして挙げられ、「眼鏡リサイクル・プログラムは毎年何百万個の眼鏡を、必要でもこれを買えない人々に提供している。」とも語っておられます。

この様な背景から、北条LCでは結成45周年記念の特別事業として、インド洋大津波被害国スリランカの弱視者へ中古メガネを贈る活動を展開してまいりました。事業内容は、家庭で不要になったメガネを回収し、(株)三城の無償協力を得て必要な処理をした後、スリランカ国大使館を通じて同国の弱視者へ贈呈するものであります。

メガネの回収手段については、活動趣意書を作成して

①小・中学校児童生徒を通じて父兄への協力を依頼する。

②区長会・公民館活動として、地区内全

戸への寄付を呼び掛ける。  
③会社事業所を通じて従業員からの回収を依頼する。

④LC会員が直接回収を行う。  
ことを決定し、06年10月1日からスタートさせました。この呼び掛けに対し、各学校では「ボランティア教育の生きた教材になる。」

○区長会・公民館でも、「LCの国際的奉仕活動には感動した。組織を挙げて協力します。」

と極めて好意的に受け止められ、組織的協力のお陰で僅か2ヵ月間に370個



(株)三城、松山本店への搬入

正岡小学校児童より回収メガネを受けとる



を回収することができました。

回収メガネは現在(株)三城で贈呈に必要な処理中で、準備完了次第スリランカ大使館を通じ現地へ発送する予定であります。

この活動のメリットは、

○地域住民の協力で、無料でしかも短期間に大量のメガネ回収が出来たこと。

○活動を通じて、北条LCの奉仕活動を住民が認知してくれたこと。

○愛媛新聞に活動記事が掲載され、LCの活動が県下に広報出来たこと。

○専門のメガネ業者の無償協力が得られたこと。

○近い将来に、贈られた現地の人々に非常に喜ばれること。

等、将に「一石数鳥」の成果が挙げたのではないかと思っております。

## 2 Region

### 【祝】第1111回例会

(平成19年1月11日開催)

2R・1Z 新居浜LC

会長 塩見 秀晴

1960年10月に日本で204番目、四国では12番目のライオンズクラブとして発足し47年、月2回の例会を地道にたゆまなく歩み続けた結果、偶然にも平成19年1月11日に第1111回例会を迎えることができました。これほど1の続く例会はこれからも二度とないでしょう。この例会に出席大会委員会では100%



第1111回記念例会

純出席を目指しました。なにしろ最高齢88歳から28歳の独身メンバーがいます。年齢差はなんと60歳、メンバーの中には入院中の人や施設に入所している人もいて困難が予想されました。おそらく現役のメンバーのみのクラブでは想像できないかもしれませぬ。出席大会委員会では手分けして病院の送り迎えをしたり、又新年のことで大事な出張を取り止めてもらったりといろいろご無理をお願いいたしました。しかし、結果は1名やむを得ない出張で欠席となり出席率98・5%に留まりました。いやー誠に残念、あれだけがんばったのに・又記念事業として環境保全委員会の努力



滝の宮公園に記念植樹

により、桜の名所新居浜滝の宮公園内お花見広場に20年物のソメイヨシノを3本寄贈いたしました。例会終了後ただちに全員場所を移動し力を合わせて穴を掘り肥料をやり土をかけて植樹いたしました。やがて枝を広げ大きく生長した満開の桜の下で花見の宴が開けるようになることでしょう。20年いや30年後、花咲爺さんになりたいという会長の思いはきっとかなうことでしょう。この世に生きてきた自分を愛でよう。生きてきた軌跡を愛そうとの思いは、「思い出の1本の桜を残そう」にふさわしい記念事業と思います。節目の想い出深き記念になりました。

## JUNIOR JUBILEE TANKER

2R・1Z 新居浜中央LC

青少年指導委員長 小野 勁

新居浜市教育委員会と共催で、文部科学省が提唱している「子どもと話そう」全国キャンペーン及びライオンズの青少年健全育成事業の一環として、子どもたちが抱えている悩みや将来への期待、夢など心のメッセージを綴ってもらうことを通じて、子どもの表現力を育み、大人の子どもに対する感性や受容力を高める一助になればとの思いで、「こころのことはコンクール」の作品を募集しました。

新居浜市内の小中学校より作文や詩など小学生438作品、中学生23作品の応募がありました。

作品には、親や家族、地域の人々、教



市教育長から賞状の授与

師、他にも様々な人間関係を考えさせられる子ども達の生活に根ざした正直な内容の作品が多数ありました。この子ども達の素直な心を大切に、何を考え、何を求めているか、子どもを持つ親はもとより、社会の大人たちに家庭や地域での子どもとのふれあいの大切さを認識していただき、家庭教育の重要性を改めて訴えらると共に、社会の大人たちが子どもたちを大切に、その成長を温かく見守りたいと思えます。

思い出してみてください。あなたの子どもの時代を。辛いとき、悲しいとき、悩んだときを。分かってもらいたかったことは何なのか。どのように励ましてもらいたかったのか。あの日のあなたが、いる



はずです。子どもたちの心のシグナルに  
気付き、受けとめてあげられる大人にな  
りたいものです。

11月に応募作品から、小学校低学年の  
部8作品、高学年の部9作品、中学校の  
部6作品の23作品を優秀作品に選考しウ  
イメンズプラザに於いて、新居浜市長を  
来賓に迎え、教師、教育関係者、父兄の  
約250名の出席で表彰及び発表式を開  
催しました。

新居浜市長の祝辞のあと、記念講演と  
して、サクセストレーニング講師 廣瀬  
公一氏の「子どもとコミュニケーション  
するために」と題しての講演を行い、引  
き続き、会長ならびに新居浜市教育長が  
入賞者全員に表彰状を手渡し、優秀作品  
の発表を行いました。

また、子どもたちの心を理解する大人  
を一人でも増やすために、入賞作品は作  
品集にまとめ、各学校や公民館等に配布  
しました。

新居浜市の広報誌「市政だより」にい  
はま 1月号」にも最優秀賞の3作品が  
掲載されました。

この事業は、教育基本法の改正、未履  
修問題、いじめによる自殺や虐待など教  
育関係や親子関係で色々な問題や事件が  
多発している最近の時代に適応した事業  
になったと感じています。

ただ、この事業は今年1回で終りではな  
く、継続して実施し、我がクラブが他の青  
少年健全育成事業を検討する際にも、子ど  
もたちの作品を参考にしたいと思えます。

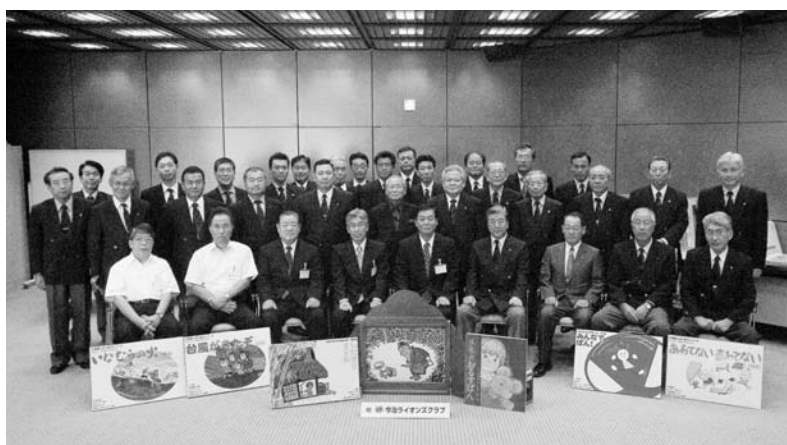
## 今治市立中央図書館に

### 幼児向け図書 寄贈

2R・2Z 今治LC結成45周年実行委員会

記念事業係長 渡辺 正隆

今治ライオンズクラブ第46代の佐谷会  
長を一言で表現するならば「勉強熱心」  
であろうか。その方向性は結成45周年と  
なるライオンズクラブの主要奉仕事業に  
おいてもぶれる事はなかった。「本が友達」  
と公言してはばからない人らしい決定で  
あり、「今治市立中央図書館への児童図書



の寄贈」は当然の帰結とも言えた。

標記の事業は去る7月6日の第107  
4回例会において今治ライオンズクラブ  
メンバー全員の賛同が得られ機関決定が  
なされた後、佐谷会長・大島幹事と共に  
すぐさま今治市立中央図書館長の長井信  
和様に趣旨説明を行う。館長補佐の木村  
年孝様と具体的方向性を話し合うなかで  
図書館が希望する方向性と我々の趣旨と  
がまさにびつたりと符合する事となった。  
それは、日本の将来を見据えた時に子供  
の教育が非常に大切であり、そのために  
は、特に幼児期に本と親しむ習慣を身に  
つける重要性を共に認識している事とし  
た。我々は幼児の頃に「良い本」と巡り  
会い感動する事によって本に親しむ心が  
芽生えれば一番であると思っていました  
が、現在今治市立中央図書館でも、子供  
達の「良い本」との出会いのきっかけを  
手伝う手段として、「読み聞かせ」という  
ものをボランティアの協力を得て行っ  
ているとの事でした。

しかしながら、その教材となる大型絵  
本や大型紙芝居は発行点数が少なく、そ  
のために定価が1冊6,000円から10,  
000円程度と非常に高額であり、愛媛  
県立図書館でも70冊程しかなく今治市立  
中央図書館では、わずか15冊しか所蔵で  
きていない状況にありました。そこで両  
者の意見がびつたりと一致したのです。

#### 図書館に幼児向け図書を寄贈

この大型絵本は子供達にとって非常に有  
用性の高い図書である事を再認識し、今  
治ライオンズクラブにおいて、現在日本

で出版されているものすべてを購入し、  
寄贈する事となったのです。そして大型  
絵本や紙芝居の111冊と共に「調べ学  
習関係児童書」他44冊、合計155冊並  
びに大型紙芝居舞台を購入する事とな  
りました。

これにより大型絵本等の蔵書数におい  
ては、今治市立中央図書館が愛媛県下で  
一番多い図書館となりました。全国にも  
誇れる内容です。尚、この大型絵本等の  
寄贈の件については、愛媛新聞等マスコ  
ミによって報道されたこともあって今治  
市民に大きな反響を呼び、既に幼稚園や  
保育園等から貸出予約が殺到している  
の事。今治市の子供達はきっと心豊かに  
育ってくれる事でしょう。

### 感動の「夜回り先生」講演会

2R・3Z 川之江LC

PR情報委員長 宇高 昭造

川之江ライオンズクラブは本年度結成  
45周年を迎えた。また、我がクラブは四  
年後に地区キャピネットを担当する。そ  
の準備資金を蓄える必要もあり、岡本忠  
会長は年度当初に周年事業は一つに絞り、  
質素にと言う方針を立て、重点目標を「青  
少年の健全育成」とした。そこで、「夜回  
り先生」として著名な水谷修先生の講演  
会が企画された。

会長自ら先生の事務所へ電話すると、  
幸運にもたまたま先生が居られご快諾頂  
いた。周年事業実行委員長に教育市民委

員長し井川弘忠が選出され、総務、財務、計画接待、広報の四委員会で構成する実行委員会を全会員で編成して、事業は軌道に乗った。

旧市内最大の750人を収容できる市民会館川之江会館を会場とし、総務委員会は先生の事務局と日程調整して開催日を1月18日(木)と決定し、広報委員会は昨年度講演会を催した松山の二クラブにその経験を聴聞し、横断幕、案内チラシとポスターを製作した。また、四国中央市、市教育委員会の後援を得て、市広報誌にも開催案内記事が掲載された。旧市内9小中学校、川之江高校の児童生徒にチラシを配布し、前々日には全紙の朝刊にチラシ広告を入れた。また会場入口でCSFIIの募金活動をし、5年間の奉仕活動紹介を配布してクラブ活動をPR



講演中の「夜回り先生」水谷修先生

した。一方、会場駐車場は狭く、駐車場整理を担当した計画接待委員会は他に二ヶ所の駐車場を設け、距離のある旧市役所からは送迎ミニバスを運行した。

「過去最高の入場者数」と市職員OBが評する予想を絶する聴衆となった。立ち席はもとより、音響設備を用意した別室の3F大会議室、2F和室も開演前に満席となった。講演は素晴らしい内容であった。主会場は勿論、音響だけの別室の聴衆も涙して聞いていた。「いまだに衝撃と感動の余韻が続いています。」といった感想文が間もなく寄せられ、市教育長からも「私たち教師は何を学んだか、話し合いたい。」とのメッセージを頂戴した。クラブ全会員もその感動と反響に「やりがい」を感じている。周年記念事業は会員の総力で大成功し、ライオンズクラブが市民に好感をもって新たに認識頂けたものと思う。

### 餅つき奉仕

2R・4Z 西条LC

幹事 明比紳一郎

師走に入り、皆慌しくなるこの時期、西条ライオンズクラブの「餅つき奉仕」が行われる。今回で、13回を数えるこのアクティビティは、西条市内の介護老人福祉施設「ゆるぎ荘」と、知的障害者福祉施設「星の里」の2ヶ所にメンバーが分かれ同時にスタート。ゆるぎ荘では、メンバー他お手伝いの

方々、入所者の家族や職員を合わせ総勢140名の盛大な餅つき大会となった。力自慢のメンバー達は、つき手、手水、こね係とそれぞれ分かれ合計7臼の餅を正午までにつき終えた。子供も老人も皆で餅を丸めたり、入所されている方がつき手に立候補され、体を支えられながらも楽しそうに餅をついたり、大変和やかで笑顔の絶えないひとときであった。星の里においては、もはや顔なじみとなったメンバー達を、園生達が屈託のない笑顔で迎えてくれる。皆、毎年恒例のこの餅つき大会を心待ちにしてくれている。メンバー達は、風呂焚きさながらの釜番、あんこ丸め、つき手と、それぞれの持ち場につき、作業開始。どこからともなく聞こえてく

る。メンバー達は、風呂焚きさながらの釜番、あんこ丸め、つき手と、それぞれの持ち場につき、作業開始。どこからともなく聞こえてく



「ゆるぎ荘」での餅つき風景「よいしょっ！」

「星の里」での餅つき風景「さあ、今年もがんばるぞ！」

### 3 Region

#### 「小豆島音楽フェスティバル」

3R・1Z 小豆島LC

青少年育成委員会 委員長 井上 正清

2006年11月19日、第41回「小豆島ライオンズクラブ音楽フェスティバル」を開催致しました。第1回は1965年(昭和40年)「小豆島音楽フェスティバル」として始まりました歴史のあるアクティビティです。前年迄は小豆島東ライオンズクラブとの共催で続けてまいりました。音楽を志す高校生・音大生・音大卒業2年迄と範囲を限定しての公演でしたが、両クラブでの開催は諸般の事情で残念ながら終了する事となりました。

公演の機会が少ない音楽分野で、しかも地元で披露出来る事は、音楽を志し、世界にはばたく青少年育成のため後援は継続しなければと、当クラブ単独で開催





する事となりました。  
出直しに当り、予算・運営すべてに於いて関係各位の協力を得られる事となり、出演者枠は音楽に興味を持ち始める小学生から指導者まで、ジャンルもクラシックから童謡まで広げた演奏会として募集。小学校トランペット鼓隊・高校生による吹奏楽アンサンブル・琴クラブ、高校・音大・OBによるピアノ独奏・ソプラノ独唱での公演となりました。  
800席の公民館で幅広い層の方々が参加され、観客の皆様が育てる音楽会・会場が一体になった楽しい音楽フェスティバルとなりました。また、次年度は中学生の参加も期待されております。関係各位に感謝申し上げます。

## 「さつまい芋」で「食育」?

3R・2Z 高松源平LC

環境保全・市民奉仕委員長 内池 光弘

高松源平ライオンズクラブは、三年前から地域の人々特に子供達に解け込める何かがないかと考え、会長・役員・メンバーが頭をひねり「さつまい芋」を思いつきました。特に、環境委員会の力と知恵を借り、さつまい芋を育て、秋の収穫時期に近くの幼稚園及び小学校を、お招きしたい。青空のもと、土の香りを嗅ぎながら、汗を流し、先生、友達、さつまい芋、そして我がクラブと戯れてほしい、という想いで始めました。

6月に、さつまい芋や金時人参で有名な坂出農協まで半日がかりでつるを買いに行き、環境委員会のメンバーに声を掛け、植え付けに協力してもらいました。うねをつけ、マルチをかけ、つるをさし、水をかけ、その後、メンバー交代でも、水やり作業は引き継がれ、雑草取りも幾度も行われました。そして見事にさつまい芋は応えてくれ、11月14日、幼稚園児と小学生を招いて、大いもほり大会を開催する事が出来る畑になってくれました。メンバーが今か今かと待っている、あぜ道をかわいらしい足音と共に、赤と白の帽子がまるで蝶々が飛んで来るかのごとく近付いて来ました。  
「今日はよろしくお願ひします。」の元気良いあいさつで、小さいスコップ達は土をどんどん掘り始めました。



子供達とさつまい芋掘りに汗を流す会員

## 「うどん作りで国際親善を」

3R・3Z 三木さぬきLC

幹事 松岡 昭夫

我が三木さぬきLCのある香川県三木町内には香川大学があり、多くの学生さん達が学んでいます。私達は国際交流事業の一環として、同大学の医学部及び農学部在籍する諸外国からの留学生とその家族の方々を毎年ご招待して、それぞれの国の歴史や文化・生活環境等について言葉の違いを乗り越えてジェスチャーを交えて話し合い、お互いに理解を深めて友好親善に努めております。

「おじさん、ここ掘って。」「おじさん、手伝って。」とあちらこちらで指名がかり、メンバーはてんでこまい。みるみるうちに、畑はハリケーンが通った後の様になっていました。楽しい時間はあっという間で、来年の再会を約束し別れました。  
今、「食育」という言葉をよく耳にします。もし今後、出来る事なら、収穫だけに留まらず、植付け・水やり・雑草取りも手伝ってもらったらどうか、という意見もありました。「農学科」を導入した小学校もあると聞きました。子供の時から農業への関心が高まればもっと食べ物について関心が深まるのではないのでしょうか。



留学生にうどん作りを教えて楽しく試食

アクティビティの一つであります。

昨年(2005年)12月16日に、香川県が全国に誇る《さぬきうどん作り》を通じて香川の文化を三木町から世界に向けて発信しようという計画を実施いたしました。

当日は留学生の皆さんにも小麦粉を練って固めた生地を足で踏み、麺棒で伸ばして包丁で切って大鍋で茹で上げる迄の工程を実際に体験していただきました。

その後出来上がったうどんを参加者全員で試食しましたと同時に、別鍋のどじょうどんも試食しました。最初は鍋の中にどじょうが入っているのを見て留学生の皆さんもビックリしていたようですが、恐る恐る食べてみて又、ビックリ！美味しいおいしいとお代わりをする人も大勢いました。

留学生の皆さんが自分の国へ帰国した折には今回覚えたいうどんを作って家族や友人達と一緒に食べてみたいと感想を述べられていました。

又、今回は来賓の方々以外に今年3月にカナダへホームステイする三木中学校の生徒さんにも参加して貰い、最後にはビンゴゲームで参加者全員、終始和やかで本場に素晴らしい国際交流の輪が広がりました。

## 先輩たちが築いた

### 桜の名所復活を！

3R・4Z 高松玉藻LC

PR委員長 鏡原 勲男

桜の名所である高松市玉藻町の玉藻城公園・桜の馬場に40年前に先輩諸氏が植



樹した桜の木が、2004年の台風による高潮などの塩害で、大半が枯死した。高松市などからの要請もあり、5年間で枯死した分を取り戻し、元に戻す計画を立てた。大規模な植樹に乗り出し、メンバーたちは先輩たちが築いた伝統を引き継ぎ42万都市高松の目玉となるような名勝復活を誓い合い計画をスタートさせた。

2006年11月16日(木)玉藻城内の桜の馬場において、クラブメンバー、高松市の関係者、NPO法人「香川のみどりを育む会」の川西玉夫会長を招待し植樹記念式典を開催、高松玉藻ライオンズクラブ岩倉完司会長と共に桜の木の根元に土をかけ、数年後には奇麗に咲いた花

桜の名所復活を祈念して

青少年育成の奉仕事業の一環として、高知県では初めての試みであるプロバスケットチームを招請し、高知県ミニバスケットボール連盟の子供たちに指導及びクリニックを目的とし9月10日に実施しました。昨年(2005年)12月に四国では初めてのプロバスケットチームとして結成され、今年の7月よりメンバーも揃い実動を開始した高松ファイブアローズに來高をお願いした訳ですが、選手15名中14名(内4名が外人)、監督とスタッ

## 4 Region

### プロバスケットチームを招請して

4R・1Z 高知北LC

岩原 常男

の下で、花見例会を開催したいとの願いを込めて、メンバー全員が順調な生育を祈念し、式典を終了した。

当日は、テレビせとうち、朝日新聞社、四国新聞社等多くの報道関係者も式典の様子を取材、夕方のニュースで放映、また翌朝には新聞にも取り上げていただいた。

2006年11月26日には植樹に伴い香川歴史博物館において、玉藻公園記念植樹講演会を、NPO法人「香川のみどりを育む会」との共催により開催。

元香川大学農学部教授五井先生に講演をいただき、ライオンズ関係者・一般の聴講者が多数来場有意義な講演会となった。

フ3名の総勢18名が参加くださいました。又、高知県ミニバスケットボール連盟は高知県内クラブの小学生5・6年生で強化育成選手の中から選ばれた13チーム・70名の子供たちが須崎市立多ノ郷小学校に先生方や家族と共に参加されました。13時30分、当クラブ代表として川村幹事が品原会長の代理で開会の挨拶の後、クリニックが開会されました。指導の内容は基本動作を中心に一人ひとりにドリブルや足の運び方、シュートのテクニック、プロ選手と模擬試合など2時間30分をたっぷり消化し、時間延長(30分)もしていただいたほどの熱心な指導でした。又、



高知新聞(2006.9.11) プロの選手に指導を受ける子供達



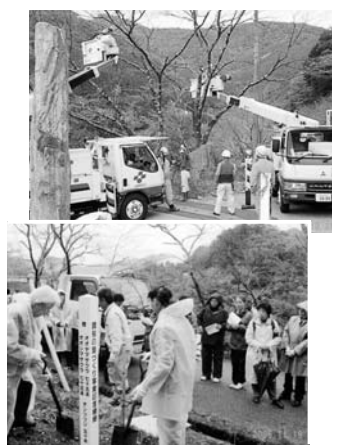
プロの選手たちは指導中も子供たちと同じ目線に立ち、なおかつユーモアを交えて非常に楽しいクリニックとなりました。そして最後にサイン会がもたれ、子供たちは自分のTシャツやシューズ、そしてバッグと手近に有る物を持って会場を西東と大パニック、特に高知県出身(南国市)の竹田選手の周りは最後まで子供たちに囲まれていたようです。選手を見送った後に連盟役員や保護者の方々から、今まで国内にはプロバスケットチームが無く、指導を受けたくても受けることが出来なかったので子供たちには最高の一日になりました。「本当に感謝しています」との言葉を頂きました。品原会長が是非にこの提案で開催された今回の奉仕活動は、予想を覆すほどの盛況で終えることが出来たことを本当に嬉しく思います。

## 鏡桜の里へ奉仕事業に参入

4R・1Z 高知桜LC

環境保全・保健福祉委員長 細木 膺子

私達のクラブは継続事業として毎年、桜の成木3〜5本を県立美術館や公園などに植樹をしてまいりました。今期の一柳会長の方針で鏡ダム湖畔を桜の花で埋めたいとの提案がありました。しかも沢山のボランティアの方の参加も可能との事でした。鏡地区は合併で高知市となり、鏡湖は高知市民の水瓶です。まず会長始め環境保全委員会のメンバーらと現地を視察しました。現場は市内より自家用車



桜の植樹にはげむ会員

で30分位に位置し、自然に恵まれた空気の澄んだ場所で、丁度トンボの大群が湖畔を飛び交い全員がすっかり気に入ってしまいました。ところが、その沢山の木の大樹のソメイヨシノは天狗巣病に罹っていて咲かない状態、鏡中学校の南斜面の2mもあるツツジもすっかり荒れた状態でした。早速クラブで、将来ここで花見をしたいと言う事になり、まず現状回復、ついで桜の植樹という大掛かりな段取りになりました。話が進むと夢も膨らみます。青少年委員会より生徒さん達に環境の勉強と交流をと言う事になり、鏡中と旭中学校の生徒さん達に参加して頂きました。

10月29日(日)53名の参加でAM10時〜PM2時で天狗巣病の治療、くすりの塗布、樹々の剪定や下草刈、清掃、高所作業車やこれら操作する人材は四国電力(株)高知支店、(株)四電工高知支店より提供して頂きました。作業後は見晴らしも良くなりダムより落ちる水の清澄しさと共に、心地よい汗を流した私達に涼やかな風が吹いてくれました。作業終了後、「一年間の肉体労働を今日1日でしたみたい」と

は会員の一声です。

11月19日(日)は植樹本番の日。前日雨が結構降りました。今回は生徒さん達も参加してもらおうので安全面でもとても心配しましたが、時たま小雨の降る植樹日和となりました。生徒、先生73名を含む総勢121名の参加者でAM9時30分〜PM2時迄、作業は雨具を着てとなりましたが、お陰で寒く無くて助かりました。土佐

鏡湖公園には全員で植樹し、植樹記念の標柱を立て植樹している所を高知新聞に載せて頂きました。県道6号線沿いの場所を8地区に分け、一個所の危険地区は地元の皆様にお願ひし、他の7地区に別れてバスと乗用車などで移動し生徒さん自身で穴を掘りました。前日降った雨にもかかわらず土は固いし大変でした。それでも中学生ともなると力は強いし頼もしく、手

実際よく生徒さん達は無事桜の苗木を植樹し各自「マイ桜」の標柱を立てニコニコと満足そうでした。桜150本とオンツツジ50本が植樹されマイ桜の標柱も100本立てられました。その後、全員が吉原公民館に集合、よしわら婦人会の皆様の手作りのツガニ汁や山菜など地元の沢山のご馳走に舌鼓を打ち、青少年委員会の用意した森林関係のクイズで盛り上がり、煙草の害についても小冊子や桜LC独自のチラシを配り理解を深めていただきました。この事業は上記以外に、鏡ツーリズム研究会(地元の色々なサークルの集合体、よしわら婦人会も含む)鏡公民館、高知緑と水の会(桜苗木50本を寄付して頂く)、

日本樹木医会高知県支部、高知県みどりサポーター会、中山間振興課、(社)高知県森と緑の会(緑と水の森林基金)より金銭支援を受けたなど沢山のボランティアの皆様を協力を得て安全に楽しく出来ました。良い環境を維持する事の難しさ、山間部(綺麗な水と空気を供給する側)の皆様と街(受容する側)に住む私達が交流出来た事は、予想以上に意義深いものでした。又、市長さんからは早々に感謝状を頂きました。我がクラブにとっても青少年委員会が現場と密に連絡を取り合い、クラブ挙げての取り組みとなりました。この事業に参加して頂いた方々、又指導して頂いた多くの皆様方に心から感謝したいと思います。

今後、生徒さん達も「マイ桜」を育ててくれることでしょうか。何時か、ここで私達がお花見の出来る日を心から楽しみに、来期に引き継ぎたいと思います。

## 「プロの料理人と一緒に料理を作る」夢

4R・2Z土佐LC

前会長 吉村 政男

土佐LCは、前期4月に40周年記念事業として、「子供達の夢」事業に取り組まれました。市内の全小中学生より「夢」を募集し、その中から記念事業としては、3件を選定し実施しましたが、まだまだ実施してあげたい子供達の「夢」がありました。そのような思いの中、今期井上会長の

下に、かなえてあげたい「夢」として、波介小学校の子供達の『シェフと一緒に料理を作り、地元の人達と一緒に食べたい』との案を選びました。

この波介小学校は昨年春に新築され、真新しいランチルーム『まごころレストラン』で実施される運びとなり、早速協力してくださるシェフ探しに取り掛かり、梶原の「雲の上レストラン」の中城嶽彦料理長がお引き受け下さり、料理教室の下見、スケジュール調整、材料の打ち合わせ等入念に行って下さいました。当日



学校がレストラン

児童が給仕 住民と交流

土佐市波介小

高知新聞 (2006.9.30)



は、中城料理長の他2名のシェフのご協力もいただき、子供達はお母さん方の助けを借り初めてのフランス料理に一生懸命でした。お母さん方も本物の仕込みの凄さや手間の掛け方に驚きと感動を味わっていたようです。

出来上がりしました料理は、地域の独居老人の方々をお招きし、一緒に楽しくいただきました。お年寄りの方々にも大変喜ばれ、子供達も「プロの料理人と一緒に料理を作る」という夢が実現し、大喜びでした。

因みに、当日のメニューは、「クリームビシソワーズ」、「帆立貝柱のポワレ・粒マスタードソース」、「鶏肉の赤ワイン煮」の3品でした。

## 「レオの灯を絶やすな！」

4R・3Z 宿毛LC

レオ委員長 依岡 升

宿毛レオクラブは、1977年に17名で結成し今年で30周年を迎えることになりました。1993年からは、県立宿毛高等学校家庭科クラブの生徒が中心になって活動し現在に至っています。ボランティアに興味のある生徒が集まり、地域活動に地道に取り組んでいます。

宿毛レオクラブは、継続事業として自分達で作った枕カバーやお菓子を手みやげに在宅寝たきり老人を訪問し、手紙を朗読して励ましています。その他クリスマスケーキを作り老人施設と障害者施設の訪問、そして市内の清掃活動に取り組んでいます。

クリスマスケーキを持って  
障害者施設を訪問



土佐くろしお鉄道・宿毛駅構内の「花を飾ろう」運動



本年度は、レオの発案により2005年11月に再開した土佐くろしお鉄道宿毛駅の構内を「花で飾ろう」と計画しました。60個のプランターにパンジーやビオラ、金魚草などを植え、構内を清掃し玄関や通路に花を飾りました。駐輪場があるのにも拘わらず、点字ブロックの上で平気で駐輪していた多くの自転車、プランターを置く事で、次の日からは無くなっていました。ちょっとしたアイデアで、人の意識を変えられる事を実感したメンバーにとっては、大きな経験だったと思います。駅で待機しているタクシー運転手の方も「構内に産直市ができた」、高校生が花を持ってきてくれたり、駅が少しずつ明るくなって元気が出てきた。」と宿毛レオクラブの活動を喜んでくれました。我々は、「自分達の住む街、生活する人

達の事を考え、少しでも役に立てることを」をモットーに頑張っている宿毛レオクラブに手を差し延べ、チャーターメンバー故池 定好の口癖だった「レオの灯を絶やすな！」を合言葉にこれからもレオを守り続けていきたいと思っています。

## 5 Region

### 青少年支援活動について

5R・1Z 小松島LC

会長 鶴代 幸雄

近年青少年をとりまく社会環境が非常に悪化しており、小松島ライオンズクラブはそれらに対応するため、さまざまな事業を展開し、長期に亘る継続であり、情熱をもって取り組んでおり、そのすべてが青少年の「健全育成」であり奉仕活動の最重要項目として位置づけし地域と共に、地域に密着した青少年支援活動を行っています。

主催の県下学童書道展を大きな柱にして、青少年にかかわる各種スポーツ大会においては、それらの主催又は後援で支援しており、以下概要は次の通りです。

(1) 第39回ライオンズ県下学童書道展(39年間に亘る継続事業)

目的 青少年の健全育成と、学童の書写教育の一環として書

写の振興発展に寄与し、健全で豊かな心を育成する。

募集要項 前年末の6月に学年別の「課題」を決定して県下各学校



審査要項  
夏休みに書上して9月に応募締め切り後集計開封、11月末まで断続的予備審査を重ね、審査委員長に元四国大学教授 田村昇鶴先生によって最終審査、で県知事賞ほか関係行政や支援団体賞など決定、成績表の印刷。

表彰式  
2007年1月14日表彰式(作品展示会は1週間前から)

表彰式典に先立ち県知事をはじめ関係行政長、後援団体、学校・書道塾に式典臨席依頼(本年からミリカホールで開催)。

労力等  
クラブメンバー参加人員延べ160名、労力奉仕時間計580時間  
応募総数 条幅・半紙の総数2502点

後援  
徳島県・徳島県議会・徳島県教委・小松島市・小松島市議会・小松島市教委・NHK徳島放送局・四国放送・徳島新聞社・阿波勝浦ライオンズクラブ

(2) 麻薬・覚醒剤乱用防止標語募集  
目的  
青少年を薬物・薬害から守り薬物の誘惑を回避する意

ソフトバレーボール大会



ライオンズ県下学童書道展

募 集  
「薬物乱用防止啓発奉仕活動」の共有として募

審 査  
本題の標語を小松島市内3中学校の生徒対象にして募集優秀作品を表彰。

最優秀作品として徳島保健所小松島警察署 小松島教育委員会のご協力で審査とご指導を願いました、特別優秀賞の6名が決定。

尚優秀作品入賞者の表彰式は1月14日、書道展表彰式と併せて実施する。

(3) 青少年のスポーツ関連競技大会の支援(継続事業)  
1 小松島ライオンズクラブソフトバレーボール大会  
第17回2006年7月及び、第18回2007年3月の年2回実施

2 小松島ライオンズクラブ後援、県下小学生バレーボール大会2006年3月1回実施

3 小松島ライオンズクラブ主催、第8回道大会2006年7月の年1回実施

4 小松島ライオンズクラブ後援、第31回道下中学校対抗ソフトテニス小松島大会

5 小松島ライオンズクラブ後援、第24回道少年剣道練成大会2006年9月1回実施

2006年4月30日女子の部、2006年5月3日男子の部2日に亘り実施

元会長 清水 三枝

カンボジアの子供達への支援

5R・2Z 徳島吉野川LC

元会長 清水 三枝

チュムリアップ スオ

この度、2007年2月2日から、カンボジア・コンポントム州・トリアル小学校へ図書文具、教材一式等の寄贈にクラブメンバー5名で出発致します。

私にとって、カンボジアは3度目の訪問となります。2004年徳島吉野川LCの会長となり、11月21日トリアル中・高校(校舎を朝昼交代で使用)を訪問し、黒板5枚・図書・文具(ノート約7千冊、ボールペン、シャープペンシル、消しゴムセット等)・ベンチ・卓球台セット等を寄贈して参りました。贈呈式には、クラ

ブから三役と国際交流委員長の4名、同校タイカムシエン校長や教員、生徒約700人、同ネアム・コピー首相秘書官等が出席し、生徒代表25人に文具を手渡ししました。式典の様子は、カンボジア王国国営放送で「日本の徳島吉野川ライオンズクラブが寄贈」と報道され、帰国後に徳島新聞にも大きく掲載されました。



贈呈式で挨拶する清水会長

している子供達について紹介されたことです。講演後会員からカンボジア支援の声が高まり、寄贈に繋がりました。

カンボジア王国は、北西にタイ、北にラオス、東南にベトナムと国境を隣接し、各国經由でないとい国出来ません。東西約560km、南北約440kmで、面積は18万1035平方キロメートルと、日本の約50%です。

現地バライ区は、首都プノンペンとシエラムアツプ（アンコールワット所在地）の約中間で、ポルポト政権発祥の地でもあります。まだ当時は観光ブームではなく、情報が少なく、ライフル銃所持、地雷等危険地域に指定されていたので、会員は現地訪問に躊躇し思案していました。会長就任直後、まずは、8月の熱帯モンスーン雨期のカンボジアへ女友達と二人で視察旅行致しました。現地担当ガイドに頼みツアーを変更し、旅行会社宛に念書を書き、オブション代・ガソリン代とチップを奮発。いざトリアル村へ！片道200kmのトリアル中・高校を訪ね、校長先生や生徒と教室で記念写真を撮り、200\$寄付し、次回の訪問を伝え帰路へ。帰宅後クラブ会員に報告し、皆の協力で11月の式典となりました。

昨年度も小学校に文具等教材を寄贈しました。男女共学の3,000人位の子供達は、農業、井戸水くみ、水牛の世話、兄弟の子守り等で学校に来られず、子供は労働力となっています。今期の寄贈訪問で、小学生の子供達が学習用品、卓球台セット、サッカーボールなど、笑顔で

喜んでくれるのを楽しみに逢いに行つて参ります。オークントウラン。

## 眉山山頂をめざして

### 「第80回 健康ウォーク」

5R・3Z 徳島東LC

実行委員長 南 義弘

日時／平成18年11月3日 コース／5キロ  
参加者／合計千百名 主催／徳島東LC・徳島東LSC

健康ウォークとは、いつでもどこでも誰でもできるスポーツです。

自然の中で、五感に触れながら楽しく歩けます。

本年は映画「眉山」の徳島ロケもあり、県民に「眉山の魅力」を再発見してほしい」と参加を呼びかけました。

8月に実行委員会を理事会及び例会にて承認していただき、山本健会長のもと



参加者全員で  
ラジオ体操



抽選会に集まった参加者の皆さん

スタートしました。パンフレット作成のため、後援先の徳島市教育委員会・徳島ウォーキング協会・徳島新聞・四国放送・NHK・エフエム徳島にお願いに参りました。許可申請のため県と市の公園緑地課、保健所等に行きましたが、担当者が変わると難しい場合があります。

9月にパンフレットと申込用紙が出来ると前回の申込者に郵送しました。

先着1000人を目標として、徳島公園のラジオ体操参加者や大口の申込者には、会員が手渡しでお願いに行きました。

特別委員会も、総務PR・開会式と受付・設営とコース・アトラクション・救護・食事・事業資金・バザー・写真記録の委員長と副及び委員を決定し、準備の役割で大小委員会を8回致しました。

11月3日(祝)朝7時に集合、晴天の中ですがしい気分で全員笑顔の準備です。8時から参加者の受付と記念品を渡して、開会式、注意事項の説明、ラジオ体操をしました。

10時出発、祝日なので車も少なく、赤色の救助自動車(会員の医者2人)が後列に配置、傷害保険も加入していますが使用するものではありません。

山頂の受付では完歩証のスタンプを押し伊藤園のお茶と「名物きつねうどん」を渡します。テント下や広場の芝の上でジャズバンドの生演奏を聞きながら美味しいと好評のなか召し上がっていただきました。

最後はラッキーカードの抽選会です。景品は当日のプログラムにも記載しており全部で150本用意しました。

帰りはロープウェイに乗る人、同じコースを歩いて帰る人、藍場浜公園である「狸祭り」に行く人等おられます。

解散後、会員は清掃と後片付けをして山本会長の挨拶で終わりました。

平成3年の私が会長の時に始めて、大塚製菓の協賛でオロナミンCの提供も受け、参加者713人で成功しました。平成4年の2回目は参加者が1341人にもなり、広場が狭く感じました。その後暫くは会長からも話が無くなりましたが、平成9年の会長から復活し去年度は休みましたが本年で8回目となりました。

徳島東ライオネスの皆さんには受付とうどんの担当してもらい、ご苦労をかけています。

しかし、会員も高齢化しており、若い会員を入会していかなければならないと思っています。

これからも40周年50周年をめざして、徳島東LCは頑張ります。

## 6 Region

### 餅つき慰問と

### どんどつくり招待

6R・1Z 内子LC

青少年委員長 谷野 文子

内子ライオンズクラブは、平成17年五十崎ライオンズクラブと合併、翌18年5月には内子ライオンズクラブ40周年記念式典を無事終了することができました。その





毎年恒例の「みどり苑」の餅つき慰問

際、アクティビティの見直しで、継続するものの内二つの活動を紹介します。

一つ目は、餅つき慰問です。毎年旧正月の頃、町内にある老人ホーム「みどり苑」への慰問です。参加者は、会員とそのパートナー、みどり苑の職員、町内婦人会の有志、そして入苑者の方と総勢30名以上です。

平成6年に餅つき用具一式を寄贈してから現在まで続いており、今年もその時期が近づいて来ました。昔ながらの餅つきがなつかしくて手伝って下さったり、かけ声をかけたりと、和気あいあいの内に進みます。つきたてを口にされた様子に思わず顔がほころび楽しい一時です。

二つ目は、ぶどう狩りへの招待です。平成4年から老人ホームの入苑者を会員の観光ぶどう園へ招待するのです。内子町には、観光ぶどう園がいくつもあり、毎年8月から9月にかけて楽しむことができます。

車椅子の人、腕を支えられて歩く人、デイサービスの人等40名ほどの参加です。もちろん介護士がついています。施設長の話によると、とじこもりがちな人もぶどう狩り



ぶどう棚の下で楽しいひととき

の何日も前から、そして当日、帰ってからと気持ちはずんでリハビリに効果的のとことです。迎えるの車の中で手を振って別れていかれる姿は、笑顔いっぱいです。

これからも、内子ライオンズクラブのアクティビティが、町内外にも理解と協力が得られるよう努力したいと思えます。

### 魚の絵コンテスト

6R・2Z 八幡浜みなとLC

教育・Y.E.保健奉仕委員長 谷口 勝彦

八幡浜みなとライオンズクラブの地域文化活動として、当時のクラブ会長であるL菊池護の提案で魚の絵コンテストをアクティビティとして開催してから、3年目を迎えました。今回は開催日を3月から10月に変更して試みましたところ、タイトなスケジュールになってしまい、委員会の皆様に大変なご迷惑をかけてしまいました。



魚の絵コンテストで子供達に賞状を渡す松本会長

教育委員会へ後援のお願い、各学校へ趣旨の説明と児童の出展の依頼、図書館の展示会場使用のお願い、審査のお願い等々、最初のうちはお願ひして展示すればよいと、安易に考えていたのですが、いざ進んでいくと、予算は？日程は？開催に向けて不安は募るばかりでした。しかし、委員の皆様が力強い協力のお陰で500点の応募が有り、図書館のギャラリーで応募作品を展示することができました。

作品内容もさまざまな切り口から魚を捉え、子供たちの個性あふれる豊かな表現で作品を仕上げている様子を覗く事ができ、今年もハイレベルな作品が出展されて審査員の方も困っている様子でした。

昨年迄は、小学生、中学生、高校生、一般と

募集していたのですが、今回は、八幡浜市内の小学生だけに絞って応募依頼をしました。開催日を冬休みから夏休みに変更し、画材は昨年の色紙も良かったのですが、今回はあえて八つ切り画用紙に変更しました。このような変更をして果たしてコンテストがうまくいくかどうか心配でしたが、メンバーの絶大な協力と各メディア等に取り上げて頂いたこともあり、盛り上がったコンテストで終わることができました。

尚、今回の展示で気になった事は、コンテストの看板でした。予算も無い中で前回まで使用した100%手作りの看板はもう限界でした。次回からは、何回でも使えるような看板を作成する必要があると感じました。設営や後片付けにおいては、多勢のクラブメンバーの協力を頂き、無事に終了することができました。

実はこれが一番心配していた件です。

今後は、魚の絵コンテストを八幡浜みなとライオンズクラブの事業として、いろいろと模索しながら開催し、八幡浜市が元祖のカマボコ板展に匹敵するくらい、全国に発信していければと思っています。

### 「滑床溪谷清掃と映画同好会」

6R・3Z 鬼北LC

岡部 健一

鬼北ライオンズクラブ(高橋洋介会長)は、11月19日(日)、「滑床を愛する会」が、滑床溪谷の清掃・鬼が城山系の壊れた木橋の修復や標識の設置、鹿の食害を



雨の中での滑床溪谷の清掃活動

の例会では松野町の施設「万年荘」から芋炊き鍋のサービスを受け、寒い日だっただけに格別のご馳走でした。

また、鬼北町立北宇和病院では、患者さんとご家族、職員のための「映画同好会」がある。院長に就任して、例会でライオンズクラブの会員にも呼びかけたところ、是非参加したいとの申し出があり、一緒に活動することになった。大型スクリーンに液晶プロジェクター（ハイビジョン仕様）で迫力があり、作品は元氣の出るもの、笑えるものを選んでいく。寅さんシリーズなど特に好評。

映画は町おこしの一つになると張り切っている。1月の第2例会を同病院の会議室で行い、例会終了後映画鑑賞をおこなった。2月以降も随時実施する予定である。

## 7 Region

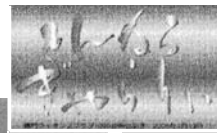
### 「ふせねお ねやんごう」 2005

7R・1Z 鳴門LC

幹事 迫間 良子

わが町、鳴門は、四国の玄関口です。京阪神からは、明石大橋、淡路島を経て大鳴門橋を渡ると、年間50万人余りの乗降客のある高速鳴門バス停留所に到着します。

この停留所は、高速道路の山上にあり、旅人は坂を下りて町に出ます。帰りは、地下道を通ってバス停まで行きます。この地下道はコンクリートで殺風景なうえ、暗く



て、壁面に落書きさえある状況でした。「もう少し、地下道が明るかったら」「女性は、一人では怖くて足早に通り過ぎてしまう」という声をよく耳にしました。せっかくながら鳴門を訪れていい思い出を胸に残しながら帰ってくださるのに、残念なこと。鳴門ライオンズクラブは、2005年1月に1,000回例会を迎えるにあたり、みなさまの声を何かしらの形にしたいと記念事業の一つとして、今回ご紹介させていただく「とんねる ぎやらいい」をこの地下道にオープンいたしました。

鳴門市民のみならず、わが町を訪れられる遠来の旅人に、疲れを癒す「いっぶくの和み」と、四国八十八ヶ所一番札所「霊山寺」のある鳴門のささやかなおもてなし「おせっかいの心遣い」を感じていただければと、本四公団と行政の協力を得て事業を進めてました。

先ず、第一回の作品は、鳴門市出身の

文楽人形師、故四代目大江巳之助さん製作の「かしら」9点をパネル写真にして飾り、スポットライトで照らしました。地元CATVや広報誌に紹介され、高速バスを利用する方々のみならず、たくさんの方々が、「とんねる ぎやらいい」に足を運んでいただいています。「明るくなってよかった」まして歩きながら「ぎやらいい」を楽しむことができるなんてと二重の嬉しい声をお聞きます。

今年度、再び、市民のみなさまの声に添えて、第二回作品展、テーマは阿波の焼物「大谷焼」です。「大谷焼」は、江戸後期、四国八十八ヶ所霊場の巡礼に来た豊後の国（大分県）の焼物細工師が、地元赤土で作ったのが起源とか、鳴門が誇れる文化のひとつです。「大谷焼」窯元七軒の素晴らしい作品を写真パネルとして飾っています。十月には、徳島県で国民文化祭が開催され、鳴門も「各流派の茶席巡り」「第九の合唱」の会場となります。是非、鳴門ライオンズクラブ「とんねる ぎやらいい」にお立ち寄りください。

## 8 Region

### 子どもたちの明日のために 「子どもの文化育成基金」

8R・1Z 高知鏡川LC

会長 中島 榮一

我々高知鏡川LCは2004年度から

受けた森林の補植などに活躍されていることを、同会員である芝五鈴ライオンから聞いて、是非クラブとしても協力しよう、あいにくの小雨模様の天気をものともせず、例会を兼ねて滑床溪谷の清掃活動を行いました。午前10時に現地集合。雨のためか名物の猿には出会わず、雪輪の滝まで溪谷の両側のごみを拾った。意外にゴミは少なく観光客のマナーの向上をうれしく思った。雨に濡れた川床で滑り、転んでしまったが、みんなの手前、痛い素振りには出来ませんでした。終了後





子どもの文化助成金贈呈式

「子供の将棋大会」は、我々が結成当初より奉仕活動を行っている「子供の家」が大変興味を持ち熱心に大会後も将棋を続けているので、今年も続けて大会をや

る事になり、賞品等の助成をお願いしたい、と言う事で申し込み額の3・5万円を助成する事になりました。「NPO法人こども劇場」は、「地球のステージ」のコンサートに参加することを通じて、子どもたちに生きる喜びを感じてほしいし、成長する場としたい。との思いのコンサートです。この団体には10万円を贈呈致しました。

約2ヶ月の期間に4、5団体の聞き合わせがありました。正式な申し込みが3団体からあり、今回も選考委員会を開き、申し込みのあった「高知市立南海中学校よさこい祭り」、「児童養護施設子供の将棋大会」、「NPO法人こども劇場」の3団体に「子どもの文化育成基金」の助成をする事を決定致しました。

2005年度は残念乍ら申し込みがなく、助成は出来ませんでした。2006年度は前年申し込みが無かったため、「子どもの文化育成基金」のアクティビティを続けるかどうかが問題になりましたが、一度きりのアクティビティではやはり終われない、と言う事で続ける事になりました。しかし前年の様に申し込みが無いといけないので、会員一人一人が助成金申し込みに値する様な団体を探す事を、例会で再提案致しました。

## 「高知市少年少女育成 剣道大会」

8R・2Z 高知中央LC

会長 横川 修

われわれ高知中央ライオンズクラブは1973年の結成以来、「青少年に愛と希望を」をメインテーマとし奉仕活動を行って参りました。青少年育成活動の一環として、2002年6月23日に当クラブは初めて剣道大会を開催しました。この時は慣れないため、高知市スポーツ少年団剣道指導者協議会や高知の剣道連盟のメンバーに全面的にバックアップして頂き何とか成功裡に終えることが出来ました。それから早くも今年で第6回を数えるメインアクティビティとして、2006年10月29日(日)好天のなか、高知市内の各道場より低学年34チーム、高学年30チーム合わせて185名の名剣士が集い、大勢の保護者たちが詰めかけ、規律正しい

なかにも熱い試合をくりひろげました。来賓の高知県剣道連盟の方々よりご挨拶を頂き、剣道でも「感謝の気持ち」が大切である。負けたら自分の欠点を教えて頂いてありがとう。勝っても自分の普段の成果を発揮させてもらいありがとう。という相手への感謝の気持ちは忘れてはならないと挨拶されました。まさに剣道は剣を通じた人間形成の道であるという一つの精神を説いていると思えました。今回の大会も400名以上の選手と父



剣道を通じて人間形成を！ 少年少女育成剣道大会



子どもたちの明日のために 未来を担う子ども達を育てよう、そんな思いから、高知鏡川LC「子どもの文化育成基金」を立ち上げました。初年度は8団体から申し込みがあり、各々助成するに値すると言う事となり、「子どもの文化育成基金」設立記念チャリティパーティあわてんぼうのサンタクロースを開催し、収益金をあわせ10万円助成を5団体、5万円助成を3団体に贈呈致しました。

兄の参加で盛り上がりました。この大会を更に充実した大会にしていくために、また、クラブ全体の発展の為に会員各位多数が出席していろいろな感想や意見を出しあってもらいたいと思います。

これからも青少年育成事業に取り組みでまいると思います。世相は親子の絆の希薄、低年齢化する学校内外での暴力、イジメ等々暗いニュースばかりで、私たち大人が何か大切なものを失っていったのではと改めて考えさせられる時、「礼と節」ではないでしょうか！スポーツの中で礼に始まり礼に終わる。特に礼節を重んじる剣道精神が最も相応しいスポーツではないかとこれまで続けてまいりました。

## ライオンズの森整備事業

### 「見晴らし台」の設置

「目的」ではなく「手段」

8R・3Z 大豊LC

会長 竹内 良二

当初の「ライオンズの森」事業構想は、1994年に西日本が記録的な大洪水に見舞われ、早明浦ダムサイドには香川県などから次々と見学者が訪れ、水源地の森林整備へ下流参加が強く求められたとき、当クラブが「飲水思源」をもとに緑のダムのキャンペーンを提唱したのが始まりである。

1997年4月29日（みどりの日）、結成15周年記念事業の一環として「大豊ライオンズの森」記念植樹を実施したが、



一本の柱を組むことから、この奉仕は始まる。

視界は320度余り、向こうのダム堰堤は、森林との共存を訴える。



香川・徳島両県の下流クラブから多数の参加を得て、今、なぜ森林かへの一層の認識を深め、水源地帯の衰弱した森林の質を高める緑化運動のキャンペーンを展開したことは記憶に新しい。

今回の「見晴らし台」の設置は、2年前の夏洪水における大騒動も、わずか1日の雨で一段落してみると、水源地域は言い知れぬむなしさに襲われる。「台風頼み」を公言する下流域も切実であるが、「冗談ではない」台風の犠牲になるのは水源地の高知県である。いざれにしても異常気象などで雨量が不足すると、四国の水瓶（早明浦ダム）がいつ干上がるかもし

れないのである。

つまり、取水制限が起きてから渇水への危機感を持つようになるが、今、いつも冷静にダム周辺を見つめるべきという発想から、ライオンズの森整備事業の一環として「見晴らし台」の設置を計画、実施したものである。

また、「ライオンズの森構想」はいわゆる永久のテーマであり、楽しい例会と同様に地域に密着した『楽しい奉仕』を視点に置いたものだが、この原点は『飲水思源』にあることを忘れてはならない。換言すると「見晴らし台」の設置は目的を達成するための手段にすぎない。

当クラブは典型的な中山間地域で会員が递减しているが、近隣クラブ等にも積極的に働きかけ、見晴らし台の設置は3Z合同アクティビティとして成功したが、早明浦ダムは渇水期を通じて下流域に生活用水を送り続けていることを知るためである。

なお、見晴らし台の用材はJRの廃品を再利用し、クレーン等の機材は会員が持ち寄って玄人はだしの技術も提供したが、小規模クラブでも取り組める労力奉仕に主眼を置いたことを付して置きたい。

☆建設経費 結成25周年記念事業として 予算計上（30万円）  
☆労力奉仕 延べ43人×163時間（高知南、土佐山田、土佐本山、土佐香南、南国各クラブが協賛参加）

## 9 Region

### 「我がクラブの同好会活動」

9R・1Z 丸亀京極LC

情報PR委員会 委員長 馬場 始

「コール・ライオン」これは、丸亀京極ライオンズクラブの同好会の名前です。メンバー及び家族の方々の愛好者により、合唱団として平成16年に発足して3年になります。

当時のクラブの方針として、各委員会の活性化とともに、同好会によるクラブ活性化を旨とし、「桃同好会」などともに活発に活動しております。毎週木曜日



特老施設「シャローム」慰問時のスナップ



の夜の定例練習会や、2006年12月15日で3回目となる、特別養護老人施設「シヤローム」の慰問など、又、当クラブの例会で発表したり、毎年9月に行う丸亀ライオンズクラブとの合同例会での演奏など、徐々に発表の機会が増えてきております。

特に、2006年10月29日(日)に開催された当クラブ結成30周年の式典及び祝宴では、主役を演じました。式典では、来賓及び出席者の入場の際の入口での「お迎え」のコーラス、そして、中華民国国歌と日本の国歌「君が代」の生演奏は、参加者全員に大きな感銘を与えるとともに、姉妹提携クラブの台湾基隆長青獅子会の皆さんには、特に喜ばれました。祝宴では、最後を締めくくる「また会う日まで」の大合唱のリードボーカルとして、これも参加者全員に大きなインパクトを与えたことと思っております。

この同好会活動が、アクティビティとして評価されるかどうか判りませんが、地道な練習と、施設慰問などボランティア活動のお手本のような、当クラブ同好会「コール・ライオン」をご紹介いたしました。

## 新しい事業に取り組む

9R・2Z 三豊LC

会長 谷口 勝久

「友情の輪が広がる楽しい奉仕」をスローガンに掲げ、事業面では、薬物乱用防止



キャンペーンを皮切りにYEA交換学生派遣事業、献血奉仕、青少年健全育成事業の一連の奉仕事業は、各委員長の献身的努力と、メンバー各位の弛まぬ協力の基順調に推移された。当クラブの最大の奉仕事業である青少年健全育成事業費110万円を、有効活用するため、今年度は一歩先を見てこの事業の方向を決めるべく時が来たかと判断した。今までは、物欲充足時代「与えられることの喜び」は終わり、いまや精神充足時代に入っており

800名の参加者が体験学習した青少年健全育成事業

与えるのみではなく、共同参加すること意義を感じている。

そこで地域の小中学生約6000人を対象に、学習参加のご案内を致しました。内容は、専門学生によるロボットの実演、作り方、歯磨きの仕方、栄養指導、凶器にもなる携帯電話のビデオの放映など、盛り沢山のイベントを行ない、この中から次回より最適のものに絞り込んでいきたいと考えています。

このイベントを通じ、参加者約800名の学生が体験学習を行ない喜んでいただきぜひ来年も参加したい旨の言葉を頂きました。

私たちの住む三豊市は、昨年ロボットコンテストで日本一に輝いた国立詫間電波高等専門学校と、瀬戸内短期大学、瀬戸内総合学園、高校が3校あり、三豊少年少女発明クラブ(会員100名)が、未来のエジソンを目指して日々研鑽しており会員の中で1名通産大臣賞を受賞された実績があり、我がクラブが中心となりこの知的財産を育む存在でありたいと願うと同時に、恵まれた環境の中で三豊市民に密着した、三豊ライオンズクラブを目指し今一度「ウイサーブ」を確認しながら頑張りたいとクラブ員一同思いを強く致しました。

〈表紙写真〉

## 佐古配水場ポンプ棟

眉山の麓、徳島市南佐古六番町の静かな住宅街の一角に旧ポンプ棟がある。イギリス積み風の赤レンガの壁に、白い半円形のアーチ型の窓、正面の壁にはベデイメント風の美しい浮き彫りの裝飾が刻まれている。県内では珍しいヨーロッパ風のこの建物が、佐古配水場の旧ポンプ棟で、今から80年前の大正15(1926)年に建てられ、平成7(1995)年まで徳島市内の家庭に水道水を送り続けてきた。

佐古配水場は広さ1万3000平方メートルの敷地に旧ポンプ棟、管理棟、調整池、倉庫などがあり、建物の外壁にはほとんど赤レンガが使われており、周囲の緑の中で目を引いている。

旧ポンプ棟は広さ272平方メートルの鉄筋コンクリート平屋建て。内部は漆喰で仕上げられており、当時としては珍しかったドイツ製のディーゼル発電機が設置されていた。石井町第十で汲み上げられた吉野川の水を、地下の配水管で佐古へ送ってろ過し、眉山山腹の佐古山配水池まで水を押し上げ新町、徳島、福島、佐古、富田、助任地区に家庭や会社に水道水を送っていた。新しいポンプ場ができたため、現在は発電のときに使う自家発電装置の置き場になっている。

佐古配水場旧ポンプ棟は大正、昭和、平成の時代を通して市民に水を送り続けた徳島市の水道の歴史を残すだけではなく、ヨーロッパの駅舎を思わせる美しい外観が評価され、厚生労働省の近代水道100選、国の登録有形文化財、土木学会の近代土木遺産に選ばれている。

(関 勝美 記)

**第2回  
名誉顧問会議**

日時 ■ 2006年10月28日(土)

13時30分～16時30分

場所 ■ センチュリーホテルイトー



**第2回  
キャビネット会議**

日時 ■ 2006年11月12日(日)

13時30分～14時30分

場所 ■ センチュリーホテルイトー



第2回キャビネット会議は、八幡浜市のセンチュリーホテルイトーで、地区ガバナールームを初めRC・ZCなど約70名が出席して開催された。本会議の主題は、第53回地区年次大会の議題が主で、実施要綱(案)・大会組織表・年次大会収支予算(案)・分会の構成などについて審議された。



そして2005～2006年度会計収支決算も承認された。地区ガバナーズ・アワードの表彰の一部変更について説明があり、例会出席優秀賞が現行80%以上を85%以上に改正されるなど、7項目を協議して原案通り議決された。続いて18の報告事項についても全員了承を得て無事閉会した。

**第3回  
名誉顧問会議**

日時 ■ 2007年2月17日(土)

14時～17時30分

場所 ■ 高知市・三翠園ホテル





# 第3回 キャビネット会議

日時 ■ 2007年 2月18日(日)

13時30分～16時30分

場所 ■ 高知市・三翠園ホテル

第3回キャビネット会議は、次期地区ガバナー立候補予定者の高知三翠園ホテルで開催された。

次期キャビネット事務局は、前日の名誉顧問会議の前に開所式を行い三翠園ホテルに開設された。



西原前ガバナーに国際会長より地区ガバナー優秀賞の伝達



2009～2010年度国際第二副会長候補者及び2007～2009年度国際理事立候補者の推薦についての説明や、次期地区ガバナー立候補者である高知柏ライオンズクラブ所属の三谷智省Lの所信表明などあり、すでにキャビネットは次年度に向い静かに移行している。

第2回の地区キャビネット会議で問題提起されていた



た336-A地区リジョンの並べ替え事項については承認され、変更の期日は2007年7月1日とする事が決議された。

## リジョン並べ替え(改正)

県名	県別クラブ設立順	現況(R)	改正案(R)	現況Z数	現況クラブ数
愛媛	1	1 R	1 R	3 Z	19クラブ
		2 R	2 R	4 Z	18クラブ
		6 R	3 R	3 Z	16クラブ
香川	2	3 R	4 R	4 Z	23クラブ
		9 R	5 R	2 Z	11クラブ
高知	3	4 R	6 R	3 Z	17クラブ
		8 R	7 R	3 Z	16クラブ
徳島	4	5 R	8 R	3 Z	17クラブ
		7 R	9 R	3 Z	18クラブ

336-A地区のリジョンは、5リジョン体制から会員の増加に伴い、順次リジョンの分割が行われ現在は9リジョン体制となっている。

リジョン番号は、リジョン分割の順に付されており地区内各県内の番号が飛び番となっているので、県ごとに順番となるよう前記の通り変更したい。県の順番はクラブ設立順とする。

# 特集

Youth Exchange  
Camp

## 336-A地区・B地区合同 YEスキーキャンプ



大山 山の家シーハイル前 YE生とボランティアスタッフ



西園寺ガバナーと松本B地区ガバナー(左)とYE生

今年もA・B地区合同のスキーキャンプが12月23日から25日までの3日間、鳥取県の「大山 山の家 シーハイル」に於いて2カ国7名のYE生を招いて開催されました。

12月23日(金)【第1日目】

中四国各地より参加のYE生は、13時に岡山駅前・林原駐車場に集合し、貸切バスに乗車して鳥取県は大山に向けて出発しました。

15時30分に「大山 山の家 シーハイル」に到着したYE生は、松本B地区ガバナー・西園寺A地区ガバナーに歓迎されてオリエンテーションを受けました。オリエンテーションでは、渡辺勝生B地区YE国際委員長の進行で、最初にYE生のお世話をするA・B地区YE関係者やボランティアの紹介がありました。その後、西園寺A地区ガバナーが紹介され、挨拶冒頭に「さむいですが、日本はどうですか。」と尋ねられました。

「あなた達はライオンズクラブの交換留学生として日本に来られた親善大使です。皆さんの若い感覚でよく見て、よく聞いて、よく学んで下さい。そして、それぞれの国に帰った時に、日本をPRして下さい。私の希望することは、皆さんが日本の若い人とたくさん友達をつくって頂くことです。いい人とたくさん付き合うと、いい人生が訪れるそうです。僅かな時間ですが素晴らしい体験と楽しい思い出を作ってください。」

と親しみを込めて挨拶されました。そし





打ち合せ中のY E関係者



ゲレンデにてスキー教室



ゲームで遊ぶY E生とレオメンバー



スノーボード体験中!



両ガバナーと通訳さん

# YE SKI CAMP

て西園寺ガバナーのバナーをY E生一人ひとりに手渡されました。続いて松本B地区ガバナーより挨拶がありました。

「ようこそ大山へ、大山は普通この時期には雪がありません、雪はブラウンではありません(大爆笑、白です。もう少し上になるとスキーが可能です。今日から3日間スキーキャンプが始まります、しっかりと楽しんで過ごして下さい。Y Eの目的というのは、日本に来て日本の文化、日本の生活を理解してもらい、それぞれの国に帰ってそちらの方でお話をして頂きたいと思います。ライオンズクラブの目的は、世界の人々に相互理解の精神を培ってもらうことです。そしてこのY E活動というのは一番効果的なプログラムであると思います。」

とユーモアを交えて挨拶されました。この後部屋割り・スケジュール説明・レンタルスキーウェアの試着等を済ませ18時より歓迎会、その後アトラクションで楽しんで第一日を終わりました。

私の希望は、若い人との出会いの輪をいっぱい広げていただきたい。いい人との出会いがその人のいい人生につながると聞いたことがあります。わずかな時間ですが日本での滞在を楽しんで下さい。楽しい思い出を一杯作って下さい。

**Y Eスキーキャンプあいさつ**  
ようこそ日本へそして大山へ。今日までの日本はいかがでしたか。皆さんはライオンズクラブの若者の親善大使として、皆さんの若い感覚で日本の色々なことをよく見て、よく聞いて、よく学んでください。そして帰国した後日本の良かったことをぜひ皆さんの国の人達に伝えて下さい。

## 12月24日(土)【第2日目】

Y E生は朝7時に起床し、それぞれ朝食を済ませて、今日は楽しみにしていたスキーに挑戦する日です。今年の大山は暖冬のため積雪がなく、人口雪のゲレンデが一箇所あり、そこでのスキー体験となります。スキーウェアに着替え大山国際スキー場へ集合したY E生達は、ゼッケン番号を着けて初めてのスキー教室に参加します。今日のスキー場は曇っていますが、暖かい日和になり沢山のスキーヤーがスキーを楽しむためここ大山を訪れています。



# CAMP

in DAISEN



昼食はバーベキュー

まず準備運動のストレッチ体操を最初に始めます。9時50分頃になるとインストラクターによるスキー教室が始まります。スキー板の装着の仕方・転び方・歩き方とインストラクターの指導の下、スキーを履いての練習、YE生はおそろのおそろ滑り始めましたがすぐにしりもち、そのままゲレンデを滑降していきます。スキー場には、YE生の悲鳴と喚声が響き渡ります。

レオ生もスノーボードに挑戦してはみましたが、しりもちをつけばかりでなかなか上手に滑れません。

スキーで一汗かいてお腹をすかせたYE生は、昼食のバーベキューを皆で話をしながら食べました。

午後からもスキーで、朝教わったことをインストラクターと一緒に練習し、各自にて自由にスキーを楽しみました。

夕方6時より夕食を済ませたYE・レオ生・ライオンズ関係者はレオ生の進行でアトラクションを楽しみます。

サンタクロースのレオ生が出てきたり、ケーキを食べてクラッカーを鳴らしてイブの夜を楽しみました。

## 12月25日(日)【第3日目】

7時起床、朝食を済ませ、9時30分集合の予定が9時にはゲレンデに飛び出し、YE生達の歓声がスキー場に響きます。

今日の大山国際スキー場は、晴天に恵まれて晴れ渡り、朝日を浴びて滑り出していきます。

YE・レオ生達は、昨日とは格段の上達をみせ、まだしりもちはずくもの、一人で滑れるようになっていきます。

時間を惜しむように、滑ってはリフトで昇りまた滑ることの繰り返し、最後の一日を十分に楽しんでいくようです。

12時に昼食をして、13時からの閉村式(解散式)に参加者が集まります。

閉村式にあたり、B地区ガバナリーの松本峰雄ガバナーより挨拶があり、

「3日間に亘るスキーキャンプが本日終わります。これから皆さんはそれぞれのホストファミリーのもとで、日本の年末年始を経験します。大晦日の除夜の鐘として初詣、さまざまな経験をしてそれが終わると帰国ということになります。国に帰ったら日本での経験をいろんな人に話していただきたい、そして又何年後に日本へ来てください、その時はこの大山に是非おいで下さい。」

そして最後にB地区ガバナリーのバナーをYE生に配り、ガバナーよりYE生・インストラクター・通訳・YE関係者に労いの言葉がそれぞれにあり、大山スキー

キャンプの全日程が終了いたしました。バスに乗り込んだYE生達は、ホストファミリーのもとでお正月を過ごし、素晴らしい思い出を胸に、それぞれの家族の待つ自分の国へ帰って行きました。

そしていつか又、日本を訪れるでしょう。





SKI



**YE**  
受入事業

「来日生のスケジュール」  
冬期受け入れ期間 ● 12月6日(水) ～ 12月25日(月)まで  
来日生 ● Madeline chee (オーストラリア・女性)

みかん農家で収穫と庭前選果のお手伝い

日高照友YE・国際協調委員長も出席しての歓迎例会

- 12/23(土) ～ 25(月) 冬期ユースキャンプ (鳥取県・大山スキー場)
- 12/21(木) 広島原爆ドーム見学
- 12/20(水) 砥部町長表敬訪問、ショッピング(デザート)
- 12/19(火) 砥部動物園観光 (徒歩にて散歩)
- 12/18(月) 内子町・五十崎町観光
- 12/17(日) 焼肉等 (岩谷口)
- 12/16(土) 書道体験・バザー体験、買い物
- 12/15(金) みかん狩り
- 12/14(木) しまなみ海道見学
- 12/13(水) 迎春準備行事参加(香積寺)・折り紙体験
- 12/12(火) 砥部焼見学(ロクロ・絵付け体験)、椎茸狩り
- 12/11(月) 松山市内ショッピング、カラオケ、和太鼓演奏体験
- 12/10(日) 結婚式出席(和装体験)、餅搗き体験
- 12/9(土) 岩谷口獅子舞見学
- 12/8(金) 松山市内観光 (松山城、道後温泉)
- 12/7(木) 忘年家族例会出席
- 12/6(水) 関西空港泊



「キャンプ参加者来日感想文」  
冬期受け入れ期間 ● 12月6日(水) ～ 12月25日(月) まで



Pang Choong Ai  
マレーシア

Fun+Fun キャンプはとても楽しかったです。みんなで一緒にしたゲームは、マレーシアにはないゲームばかりで、本当におもしろかったです。林原の駐車場でみんなに会って、大山に着くまで、数時間かかったけども、バスの中で話をしているのが楽しかったので、とても短く感じられました。最初の夜のすきやきは、初めて食べました。おいしかったです。夜にみんなで、ソリーと雪合戦をしました。ソリーは練習をしなくても簡単にできて、スピードが出るので、とても楽しかったです。みんなで一緒に風呂に入ったのも、楽しかったです。マレーシアにはバスタブがないので、初めての経験でした。Many Sexy Girls 2 スキーもとても楽しかったです。最初は、転んでばかりでしたが、だんだん滑れるようになりました。ライオンズ2人の方が丁寧に教えてくれたので、とてもうれしかったです。パーベキューもおいしかったです。



Soo Sze Jiann  
マレーシア

このスキーキャンプに参加できて、とてもうれしかったです。このスキーキャンプのあいだ、レオとライオンズクラブの私たちは、たくさん助け合いました。みんな温かかったです！ありがとうございます！スキーはとっても楽しくて、とっても好きです。ライオンズとレオのメンバーは、とてもステキでフレンドリーです。もっと、日本語を勉強したいなあと思います。そうしたら、コミュニケーションが簡単にとれるので。ライオンズとレオのみなさん、たくさんのお出をありがとうございます！

最後に、サンタクロースがかっこよかったです！でも、サンタのお腹の肉がもつと、たつぷりあればよかったですなあ。 Thank you very much!!



Madeline Chee  
オーストラリア

このスキーキャンプに参加できてとてもよかったです。雪が少なくて残念でしたが、はじめてみた雪は、白くて冷たくてきれいでした。スキーはとても難しかったですが、よく晴れていたの山がよく見えてきれいでした。同世代の日本人や他の留学生はとても優しく知り合いになれてよかったです。日本語もたくさん教えてもらいました。ロッジでは食べ物がいしかったです。夜には面白いゲームもしました。ありがとうございます。

336A・B地区合同冬季  
YEスキーキャンプを終えて



YE・国際協調委員会  
委員長 日高照友

2006年12月23日(土)～25日(月)の3日間、鳥取県大山にて336A・B地区合同冬季YEスキーキャンプが開催されました。参加者はオーストラリア・マレーシアよりのYE生7名とライオンズレオ生8名に336A・Bの西園寺・松本両ガバナーをはじめライオンズ関係者が17名を以て通訳・インストラクターを含め総勢32名で楽しくも有意義な時間を過ごしました。ほとんどのYE生がスキーが初体験であり、又宿舎では囲炉裏を囲んでのパーベキュー等、そして夜はレオ生が考案した楽しいアトラクションが行われ、お互いに国境を越えたかけがえのない友情が芽生えたであろう事を大変うれしく思います。尚YE生にはこの合同キャンプを経験する事によりライオンズムの第一目的である「世界の人々の間に相互理解の精神を培い発展させる」を推進出来るものと確信しています。最後に協力頂きました関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。  
宿泊場所：大山 山の家「シーハイル」  
鳥取県西伯郡大山町上原  
14413  
開催場所：大山国際スキー場



**LC**  
便り

大洲少年少女合唱団との合同演奏を実現、  
ライオン改め「おじさんバツ達」が歌唱とギターに奮闘！  
6R・1Z 大洲LC 大洲少年少女合唱団委員 村上志郎

大洲ライオンズクラブが後援してお  
ます大洲少年少女合唱団の定期演奏会が、  
去る2月24日大洲市民会館大ホールにお  
いて行われ、合唱団に長年ご尽力されてき  
た近田宣秋団長のご勇退を記念して、同ラ  
イオンズメンバー7名が少年少女たちと  
一緒に歌唱・ギター伴奏を行いました。



大洲少年少女合唱団 定期演奏会

なぜライオンでなく「おじさんバツ」  
なのか？疑問に思われたかと思いますが、  
今回演奏した曲名が「グラスホッパー物  
語（英語で grasshopper はバツ  
タのこと）だからです。この曲はNHK  
の「みんなの歌」で紹介されたミュージ  
カル風な作品で、主人公の年老いたおじ  
いさんバツが孫たちに向かって「わし  
の若い頃は冒険心に富んでいて、一人で  
この公園を飛び出して街の中で大変な目  
に遭ったが、心優しい人に助けてもらっ  
て無事帰ることができた。お前たちも周  
りで助けてくれる人への感謝の気持ちを



近田団長を囲んで

忘れずに大志を抱いて生きていくのじゃ  
ぞ。」と語りかけるライオンズ精神にも  
通じるストーリーです。  
それは結構なのですが、いかせん難  
しい！メロディ、テンポの変化、転調、  
長い長い長いセリフ、どれをとっても難  
しいハイレベルな曲でしたが、ライオ  
ン改めバツおじさん達は頑張りました。  
事前の練習の段階では、「流行歌は覚え  
れるが、こんなんは無理せえー」とか「寝  
る前に頭の中で曲がまわるんですらーい」  
などと言いつつも、根が真面目で人生経  
験豊かな方々だけに、本番当日にはキッ  
チリと仕上げられ、普段の紳士たる  
装いとは別世界の衣装にやや戸惑いつつ  
も、過去最大の会場と最多のお客様の中  
で子供たちとともに感動を分かち合いま  
した。



歌うライオンズ

緊張感から開放された打ち上げ反省会  
でのビールのおいしいのなんの。「来年も…」  
や「次はお年寄りの施設に慰問に…」と  
いう発言者の口にグラスを押し込みつつ  
充実感に浸ることができました。  
最後になりましたが、今回のチケット  
の販売にご協力頂きました近隣のライオ  
ンズクラブ会員の皆様に感謝申しあげま  
す。



きまった！エンディングポーズ！（グラスホッパー物語）



ライオンズクラブ国際協会  
336-A地区

# 第53回 地区年次大会

ガバナーズスローガン

友情の輪を広げ 共に楽しい奉仕

大会スローガン

楽しい出会い みかんの郷から奉仕の輪

## 登録要項

### 大会登録料

◇ L 8,000円 ◇ LS.LL 同伴 6,000円

### 本登録

締切日 2007年2月28日(水)

※締切日以降の返金は出来ません。

各クラブでまとめて、必ず締切日までにお申し込み下さい。

### 記念ゴルフ

L.LS.LL 5,000円

(年次大会とセットで登録をお願いします。)

[コース] 愛媛ゴルフ倶楽部・大洲ゴルフ倶楽部  
(プレーフィーは各自でご精算ください。)

### お申し込み

大会登録、記念ゴルフのお申し込みは  
「第53回年次大会事務局」まで  
Eメール又はFAXで。

## 大会プログラム

### 4月14日(土)

#### ◆記念ゴルフ 8:00~

愛媛ゴルフ倶楽部/大洲ゴルフ倶楽部

#### ◆「わたしの夢 ぼくの夢」作文発表会 14:00~

入賞発表

記念講演 講師 中村修二

(小・中・高校生・一般参加者対象)

#### ◆日韓親善国際交流の夕べ 18:30~

### 4月15日(日)

#### ◆指名選挙会 8:00~9:00

八幡浜市民スポーツセンター サブアリーナ

#### ◆代議員分科会 9:30~10:30

第1分科会 (八幡浜市民スポーツセンターサブアリーナ)

[会則・会員維持・指導力育成・EXT委員会]

第2分科会 (八幡浜商工会館3F)

[PR・ライオンズ情報・大会参加委員会]

第3分科会 (八幡浜商工会館5F)

[青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員会]

第4分科会 (愛媛信用金庫八幡浜支店3F)

[環境保全・保健福祉委員会]

第5分科会 (JA西宇和矢野崎支店3F)

[YE・国際協調委員会]

#### ◆代議員総会 11:00~12:00

八幡浜市民スポーツセンター メインアリーナ

#### ◆大会式典 13:00~16:00

八幡浜市民スポーツセンター メインアリーナ

【講演会】

・カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授

・愛媛大学客員教授

講師 中村修二



「第19回」2006-2007  
国際平和ポスターコンテスト

テーマ

「平和を祝して」

今回も児童・生徒たちの感性豊かな力作が勢揃い

第19回国際平和ポスターコンテスト審査会が2006年11月20日(水)午前10時〜12時、八幡浜市仲之町ハーバープラザホテルで行われた。

ライオンズ国際平和ポスターコンテストは、平和が何を意味するか独創的に表現する国際的コンテストです。2006〜2007年度コンテストのテーマは「平和を祝して」で、コンテストは、人々が多大な寛容さと国際理解を抱くよう、ユニークな平和の観念を他の人に伝える機会を子供たちに与えるために企画されたもので、1988年から毎年開催されている。山口和哉幹事の開会あいさつに始まり、出席者が紹介され西園寺純一地区ガバナーの挨拶の後、地区副幹事・青少年担当の大塚節雄より主旨等を説明、審査委員長に愛媛県美術会の門田俊彦氏が選任された。集った271点の作品の審査が行われ、表現の力強さや構図のバランスなどをポイントに選ばれた。

336-A地区最優秀賞に高松南ライ



第19回 2006〜2007  
国際平和ポスターコンテスト  
出品作品冊子

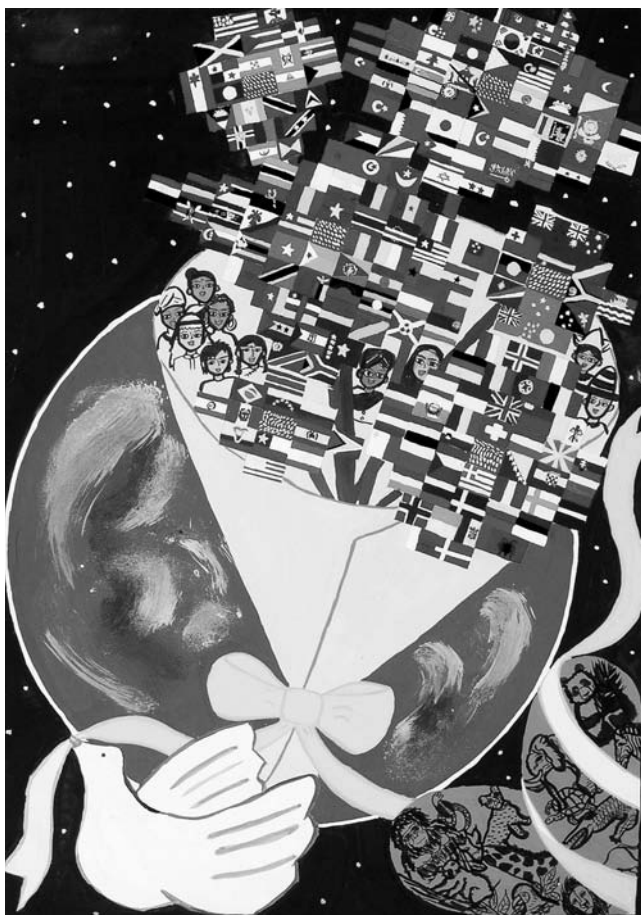
オンズクラブスポンサーの高松市立紫雲中学校一年河瀬咲江佳さんが選ばれた。優秀賞は松山西ライオンズクラブ・中川咲さんと松尾佳奈さん、川之江中央ライオンズクラブ・高井美穂さん、東予ライオンズクラブ・日野真衣さん、高知北ライオンズクラブ・島崎千晶さん、徳島城山ライオンズクラブ・谷口晴香さん、鳴門ライオンズクラブ・楠本裕子さん、徳島中央ライオンズクラブ・森江太一さん、藍住ライオンズクラブ・濱悠峻さん、北島ライオンズクラブ・鈴木錠さん以上10名が選ばれた。

comment

6つの州を6本の花にするために、192カ国の国旗を初めてゆっくり見ることができた。知らない国や民族もたくさんあるのだなあとと思った。国と国が協力しあって未来へ向かって行く願いを、自分ではうまく表現できたと思う。



336-A地区 最優秀賞  
河瀬咲江佳さん(中1)  
高松南ライオンズクラブ



愛媛県美術会・放送局・LC関係者による審査風景

特別寄稿 四国の偉人 徳島県

## 日本薬学の開祖

## 長井長義とテレーゼ夫人

徳島中央ライオンズクラブ幹事 関 勝美

## 長崎留学で

## 医学から化学へ

長井長義（一八四五〜一九二九）は、弘化二（一八四五）年七月二十四日、吉野川の下流、眉山に近い阿波国名東郡常三島長刀丁（現在の徳島市中常三島町）で、代々藩医を務める長井家の第七代琳章（一八五八〜一九〇〇）の嫡子として生まれた。

長州藩が四カ国艦隊に攻撃されるなど世情騒然たる慶応二（一八六六）年、二十二歳になった長義は藩主蜂須賀齋裕が選抜した英才の一人として芳川顕正（後に伯爵）らとともに長崎へ留学した。精得館（現長崎大学医学部）でポードウィンやマンズフェルトから西洋医学を学ぶが、寄宿先として選んだ上野彦馬の影響を強く受けた。彦馬は日本初の写真家で、坂本龍馬などを撮ったことで知られて

いるが、化学書の「舎密局必携」を出版するなど優れた化学者でもあった。硝酸銀などを扱う当時の写真は最先端の化学であり、彦馬の実験第一主義はホフマン教授に通じるものであり、長義に大きな影響を与え、さらに日本の薬学の伝統へと継承されていく。

長崎で初めて黒船を見、外国の人々に接し、西洋料理を口にした長義は「長崎で見るもの、聴くもの迄一つとして新しきものに非ざるなく、私は全く別世界に参った様な心地致し、自然私の思想も新しくなり始めました」と述べている。二年後の明治元（一八六八）年三月に藩命により帰藩する。

ベルリンで出会った  
師・ホフマン

長義は同年八月、蜂須賀茂留に随行し維新の混乱治まらぬ東京（七月改称）へ赴き、大



長井長義 テレーゼ夫人 銀婚式の記念写真

学東校（現東京大学医学部）に入学し再び医学を学ぶことになる。大学少寮長心得に任じられ、大学東校の四人組の一人に数えられた

長義は、明治政府の第一回海外留学生に選ばれ、明治五（一八七二）年、ドイツ（当時はプロイセン）のベルリン大学に入学。医学生として留学した長義だが、ホフマン教授との出会いにより医学への思いは完全に消え失せ、ホフマン教授の下で化学実験に没頭していく。幾つかの研究成果をドイツ化学会に発表し、明治十四（一八八二）年四月にベルリン大学助手（有給）に、同年十二月にはベルリン大学の学位を授与された。

## 日本の薬学会を牽引

長義の留学中に日本の大学制度や医療制度は徐々にその形を整えつつあったが、日本人指導者の不足は否めなかった。こうした事情

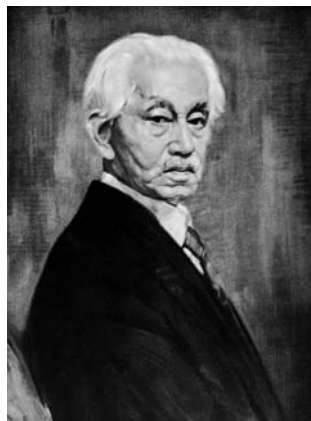
## Profile

## 関 勝美

1949年2月20日生

徳島中央ライオンズクラブ幹事  
徳島出版株式会社出版部部長





長井長義 肖像画

もあって明治十七（一八八四）年五月、長義は政府の再三の要請に応じて帰国した。長義と親交の深かった石黒忠恵子爵は、この間の経緯について「長井一身の為には気の毒に思っただが、日本國の薬政の為と云う考へから帰朝勧告の手紙を送った次第である。従つて其の長井が独逸に於ける地位を捨てて日本薬政創立の為に身を犠牲にしたと云う事は、日本の薬学に就いて大きい事柄で、特に一言置く」と述懐している。

帰国した長義は半官官民の大日本製薬の製薬長に就任し、同時に東京帝国大学の教授として理学部で化学を、医学部で薬化学を教え、内務省衛生局東京試験所所長など数多くの要職を兼任することになった。

明治十八（一八八五）年七月、長義は麻黄からエフェドリンを発見する。エフェドリンはカゼ薬に必ず処方される成分で、現在も世界中で広く使用されている。長義のこの発見は同世代の高峰讓吉（一八五四～一九二二）のジアスターゼやアドレナリンの発見と遜色はないが、一般にはあまり知られていない。二人共に薬学・化学の泰斗でありながら、長井の名前は広辞苑にも大辞泉にも見当たらない。長義は薬学のパイオニアとして研究に没頭するとともに、日本薬学会会頭に明治二十一



テレーゼ夫人

（一八八八）年一月に就き、地方での薬学会總會の開催など薬学という専門分野の確立に奔走した。大正十二（一九二三）年四月には徳島市の千秋園において総会が開かれ、薬学にかけた長義は、八十二歳にしてなお満州の大連で開かれた総会に出席した。

## 生涯の伴侶

### テレーゼ夫人

長義は多忙を極める中、明治十九（一八八六）年に再びドイツに渡り、同年三月、テレーゼ・シューマツハ（一八六二～一九二四）と結婚する。長義がテレーゼと初めて会ったのは、明治十六（一八八三）年八月、フランクフルトのホテルであった。テレーゼは異国の東洋人としてではなく、ベルリン大学のプロフェッサーとして長義を見つめ、胸のときめきを素直に受け止めたという。二人の出会い

は偶然のように見えるが、ホテルの朝食に同席したり、オペラを見に行ったりと Hoffman 教授とフォン・ラーゲシュトリームのお膳立てによるものとも言われている。テレーゼは「長義が私の横顔ばかり見ていたので落ちておいてオペラが見られなかった」と後年語っており、長義の熱い胸中が伺えるエピソードだ。また、当初結婚に反対していたテレーゼの両親を説得したのも Hoffman 教授であった。ラーゲシュトリームは長義の下宿先の夫人であったが、日本の政治・教育・医学などの分野で活躍する人々が、この下宿から巣立っている。長義の結婚の申し入れを受けたシューマツハ家では、家から式場となる教会までの約一〇〇キロの道にレッドカーペットを敷いた。三代も四代も過ぎた今も、この結婚式は語り草になっているという。長義四十二歳、テレーゼ二十四歳であった。

同年七月、長義はテレーゼを伴って帰国した。「独逸夫人は愛する夫の使命達成の為なら如何なる世界の隅にでも喜んで行くから早く探して決心する様に」と Hoffman 教授の言われたとおり、テレーゼはドイツを捨て完全な日本人になりきろうと努めた。遠い異国へ嫁いで来たテレーゼを常に庇い、助けたのは長義の父兄章であったという。

テレーゼは長義との間に三人の子供をもうけ、日独親善にも大きな役割を果たした。大正十一（一九二二）年にアインシュタインが夫人を伴って来日した際には、ドイツ語通訳として滞在中の夫妻に同行し、その十日間はテレーゼにとってもすばらしい日々であったという。この日から二年後の大正十三（一九二四）年八月、軽井沢の別荘で六十三歳の生涯を閉じた。

## 阿波藍の改良と製薬化学科の設置

長義の故郷徳島への思いの中には、長崎留学に際しての斎裕、茂韶のドイツ留学中の資金援助などへの恩義があったとも言われる。

明治三十二（一八九九）年七月、長義は藍を分析し「蓼藍より藍靛（らんてん、インジゴ）を製する法」で特許（第三七六七号）を取得している。長義が改良した長井製藍は、明治三十三（一九〇〇）年にパリで開かれた万国博覧会で金牌を授与され、明治三十四（一九〇一）年十二月には阿波藍製造販売同業組合において阿波藍の保護に関する講義をしている。しかし、長義の努力にもかかわらず阿波藍は、皮肉にもドイツなどの化学染料により壊滅的打撃を受けることになる。

徳島大学薬学部の前身である徳島高等工業学校の創設にも寄与し、特に製薬化学科の設置に尽力している。大正十四（一九二五）年十月、徳島高等工業学校の開校式に出席した長義は祝辞を述べるとともに、小溝校長に製薬化学部設置の急務を説き、地元有志の熱意と長義の尽力により翌年に設置され、本邦唯一の特色ある高等工業学校となったのである。その後も長義はドイツ語教育の必要性や薬学科の独立などに助言を送り続けている。

長義の望んだ薬学科の独立は、昭和二十六（一九五二）年に徳島大学工学部から薬学部が分離独立し、ようやくその夢が実現する。現在薬学部には薬学科と創製薬科学科の二科がある。また、薬学部のキャンパスには長義の胸像と長井記念ホールがあり、書簡など数多くの遺品が保存されている。

黎明期の薬学・化学の道をひた走った長義は、昭和四（一九二九）年二月十日、眠るがごとく八十五年の生涯を閉じた。亡くなる三日前に授けられた、人類に貢献した者だけにローマ法王庁から贈られる聖・セブルクロ勲一等大十字章を見ることはなかった。

### 336-A地区会員現況

(入退会は累計・2007年3月7日現在)

R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	2月末	R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	2月末	R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	2月末	
1	1	松山ホスト	49	0	1	48	3	4	ゾーン合計	236	1	1	236	6	3	伊予吉田	34	0	0	34	
		久万	28	0	1	27			高松玉藻	51	0	0	51			宇和島中央	34	0	0	34	
		松山東	48	0	2	46			高松栗林	67	0	0	67			南宇和	32	0	1	31	
		砥部	39	0	0	39			高松屋島	58	0	1	57			鬼北	40	1	1	40	
		松山つばき	49	1	0	50			高松紫雲	68	0	0	68			津島	35	1	1	35	
		松山城山	40	0	0	40			高松空港	35	0	2	33			ゾーン合計	216	5	4	217	
	ゾーン合計	253	1	4	250	高松北	29	0	0	29	リジョン合計	580	12	9	583						
	1	2	松山道後	60	0	0	60	4	1	ゾーン合計	308	0	3	305	7	1	徳島眉山	42	0	0	42
			伊予	53	0	1	52			リジョン合計	998	3	7	994			鳴門	58	0	0	58
			双海	10	0	0	10			高知	51	0	1	50			藍住	50	0	0	50
松山西			55	0	0	55	高知柏			73	0	1	72	板野			44	0	0	44	
松山前			22	0	1	21	高知東			61	0	1	60	松茂徳島空港			30	0	0	30	
松山北			42	0	2	40	高知北			41	0	0	41	鳴門西			26	0	0	26	
松山湯築		36	0	0	36	高知桜	42	0	0	42	北島	57	0	0	57						
ゾーン合計		278	0	4	274	高知とさみずき	21	1	0	22	ゾーン合計	307	0	0	307						
3		3	北条	41	0	0	41	4	2	ゾーン合計	289	1	3	287	7	2	阿波池田	41	0	0	41
			松山中央	86	2	0	88			須崎	60	0	0	60			脇	40	0	0	40
	松山南		43	0	1	42	土佐			51	1	1	51	三加茂			29	0	1	28	
	東温		37	0	0	37	伊野			32	0	1	31	半田			29	0	0	29	
	松山金亀		53	0	0	53	佐川越知			31	0	0	31	ゾーン合計			139	0	1	138	
	松山白鷺		59	0	0	59	中土佐			24	0	0	24	徳島西			43	0	1	42	
	ゾーン合計	319	2	1	320	ゾーン合計	198	1	2	197	鴨島	41	1	0	42						
	リジョン合計	850	3	9	844	四万十	49	0	0	49	阿波	46	0	1	45						
	2	1	新居浜	64	0	0	64	3	3	土佐清水	53	0	0	53	7	3	徳島国府	27	0	1	26
			新居浜中央	50	0	0	50			宿毛	36	0	0	36			神山	28	0	0	28
新居浜別子			38	0	0	38	窪川			27	0	2	25	徳島藍			33	1	0	34	
新居浜ひうち			48	0	0	48	大方			30	0	0	30	山川高越			22	0	0	22	
ゾーン合計			200	0	0	200	大正			14	0	0	14	ゾーン合計			240	2	3	239	
今治			63	0	0	63	ゾーン合計			209	0	2	207	リジョン合計			686	2	4	684	
今治中央		62	0	0	62	リジョン合計	696	2	7	691	高知鷹城	59	0	0	59						
2		2	今治東	63	0	0	63	4	1	徳島	35	0	0	35	8	1	室戸	38	1	1	38
			今治くろしま	55	0	0	55			小松島	29	0	0	29			高知鏡川	59	0	0	59
			今治サーチング	28	0	0	28			徳島南	46	0	0	46			高知南	34	0	0	34
	ゾーン合計		271	0	0	271	徳島北			21	0	0	21	高知よさこい			38	0	0	38	
	伊予三島		46	0	0	46	阿波勝浦			38	0	0	38	土佐国府			35	0	2	33	
	川之江		60	1	0	61	徳島すだち			46	0	0	46	ゾーン合計			263	1	3	261	
	3	3	伊予土居	42	0	0	42	5	2	ゾーン合計	215	0	0	215	8	2	高知黒潮	74	2	2	74
			伊予三島法皇	41	0	1	40			徳島中央	23	0	0	23			高知桂	60	2	0	62
			川之江中央	34	0	0	34			石井	25	0	0	25			高知中央	44	0	0	44
			ゾーン合計	223	1	1	223			徳島城山	50	2	0	52			高知安芸	35	1	0	36
西条			51	0	0	51	上板			42	2	0	44	高知りょうま			40	0	0	40	
東予			45	0	0	45	徳島吉野川			34	0	0	34	ゾーン合計			253	5	2	256	
3		4	伊予小松	20	0	0	20	5	2	土成	37	0	0	37	8	3	土佐山田	28	0	1	27
			西条石鎚	58	0	0	58			阿南	65	0	0	65			土佐本山	20	0	1	19
			ゾーン合計	174	0	0	174			日和佐	31	0	0	31			土佐国	37	0	1	36
			高松	53	0	0	53			徳島東	42	0	1	41			土佐香南	43	0	0	43
	小豆島		46	1	0	47	徳島マリンピア			53	2	2	53	大豊			23	0	0	23	
	小豆島東		34	0	0	34	阿南リパティ			36	0	0	36	ゾーン合計			151	0	3	148	
	3	1	高松葵	34	0	0	34	3	3	ゾーン合計	227	2	3	226	8	1	丸亀	102	0	0	102
			高松南	34	0	0	34			リジョン合計	653	6	3	656			坂出	47	0	0	47
			高松愛	18	0	0	18			大洲	48	3	0	51			坂出白峰	52	0	0	52
			ゾーン合計	219	1	0	220			宇和	33	1	1	33			綾歌郡	29	0	0	29
高松東			72	1	1	72	伊予長浜			19	0	1	18	丸亀京極			62	0	1	61	
高松西			28	0	1	27	内子			35	0	0	35	ゾーン合計			292	0	1	291	
3		2	直島	30	0	0	30	6	1	野村	30	0	0	30	9	2	観音寺	42	0	1	41
			八栗	33	0	0	33			八幡浜	45	0	1	44			善通寺	51	0	0	51
			高松源平	46	0	1	45			三瓶	18	0	0	18			多度津	40	0	1	39
			高松中央	26	0	0	26			伊方	45	3	2	46			三豊	69	0	0	69
	ゾーン合計		235	1	3	233	保内			35	0	0	35	こんぴら			43	0	0	43	
	大川郡		41	0	0	41	八幡浜みなと			56	0	0	56	観音寺中央			28	0	0	28	
	3	3	長尾	66	0	0	66	ゾーン合計	199	3	3	199	ゾーン合計	273	0	2	271				
			志度	59	1	1	59	リジョン合計	565	0	3	562	リジョン合計	565	0	3	562				
			三木さぬき	42	0	0	42	宇和島	41	3	1	43	総合計	6,563	35	51	6,547				
			高松グリーン	28	0	0	28														





謹んでお悔やみ申し上げます

# 物故会員

①氏名・享年  
②L C名

③入会年月日  
④没年月日



①大平喜康 73歳  
②3 R 4 Z 高松栗林 L C  
③昭和41年10月1日  
④平成18年10月15日



①森政美 71歳  
②9 R 2 Z こんびら L C  
③昭和54年10月28日  
④平成18年10月20日



①中村和右衛門 81歳  
②7 R 2 Z 阿波池田 L C  
③昭和37年11月22日  
④平成18年10月24日



①川添順雄 59歳  
②6 R 3 Z 鬼北 L C  
③平成12年11月9日  
④平成18年10月27日



①上池福秀 76歳  
②8 R 3 Z 大豊 L C  
③昭和57年3月7日  
④平成18年11月12日



①石川環 77歳  
②2 R 3 Z 川之江 L C  
③昭和46年2月25日  
④平成18年11月13日



①小西敬雄 63歳  
②6 R 1 Z 内子 L C  
③平成12年3月1日  
④平成18年11月13日



①村川勉 69歳  
②3 R 2 Z 高松源平 L C  
③平成5年12月5日  
④平成18年11月10日



①島村照雄 75歳  
②8 R 2 Z 高知黒潮 L C  
③昭和63年11月10日  
④平成18年11月15日



①安岡保吉 90歳  
②3 R 2 Z 高松東 L C  
③昭和60年3月12日  
④平成18年11月4日



①岡真知子 55歳  
②4 R 1 Z 高知桜 L C  
③平成16年2月18日  
④平成18年11月20日



①川地保男 83歳  
②3 R 3 Z 長尾 L C  
③昭和55年12月1日  
④平成18年12月5日



①横山肇 64歳  
②9 R 2 Z 観音寺中央 L C  
③平成5年8月1日  
④平成18年12月5日



①真鍋友一 81歳  
②2 R 3 Z 伊予三島 L C  
③昭和54年10月18日  
④平成18年12月13日



①古川覚 93歳  
②7 R 1 Z 藍住 L C  
③昭和56年7月1日  
④平成18年12月14日



①山本隆 76歳  
②8 R 2 Z 高知安芸  
③昭和51年9月26日  
④平成18年12月17日



①田窪多理甫 92歳  
②2 R 2 Z 今治 L C  
③昭和42年10月19日  
④平成18年12月27日



2006年12月31日現在

## 編・集・後・記

▽地区誌「四国」第3号は、三月上旬発行の予定でしたが、大幅に遅れてしまいました。

異常に暖かかった今年の冬、「我がクラブのアクティビティ」の原稿依頼、正月を挟んだ一月末の締切りが、暖冬で少し緩んでしまったようです。

▽でも多くのクラブから原稿を頂き感謝いたしております。

アクティビティはライオンズ活動の花、お陰で紙面に各地区の花を飾る事が出来ました。

▽近くの川原が菜の花で、黄一色に染まり、庭の椿・木蓮・こぶし・桃の花などが次々と咲き、まさに百花繚乱の春の到来です。

▽第53回地区年次大会を目前にして、ガバナーはじめ、各委員の方々、6 R 総力を挙げて、日夜準備に奮闘しています。

なんとかこの大会を成功させ、小さな地域から大きなライオンズの花を咲かせたいものです。

地区誌編集委員会  
委員一同

第19回

# 国際平和ポスター コンテスト

テーマ  
「平和を祝して」

336-A地区 『最優秀賞』



最優秀賞  
河瀬咲江佳  
〈高松南ライオンズクラブ〉

#### ■コメント

6つの州を6本の花にするために、192カ国の国旗を初めてゆっくり見ることができた。知らない国や民族もたくさんあるのだなあと思った。

国と国が協力しあって未来へ向かって行く願いを、自分ではうまく表現できたと思う。



主催/ライオンズクラブ国際協会  
ライオンズクラブ国際協会336-A地区キャビネット  
スポンサークラブ/336-A地区各ライオンズクラブ

2006~2007年  
ライオンズクラブ国際協会  
336-A地区 八幡浜キャビネット事務局



〒796-0064 愛媛県八幡浜市379-5 野本ビル3F  
TEL(0894)24-1033 FAX(0894)22-3276  
E-mail: ehime16@lc336a.gr.jp